

教科		国語	科目名		論理国語			対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価							
使用教科書		「探求論理国語」（桐原書店）						教科 担当	A組：伊藤 景一郎 B組：伊藤 景一郎 C組：伊藤 景一郎			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
補助教材		「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版） 「小説読み解き講座」（桐原書店） 「大学入試国語頻出問題1200 四訂版」（いいずな書店） 「現代文アチーブ4 四訂版」（桐原書店） 「共通テスト+センター試験 国語過去問題 令和3年～令和6年+プレテスト 総合版 全1 2 回分」（尚文出版） 「共通テスト対策実力完成直前演習 国語」（進研学参）																	
教科の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																	
科目の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができる力を養う。																	
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		領域 話・聞 書 読		配当 時間	評価規準			評価方法							
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 3 週）	「オブジェとイマージュ」高階秀爾 【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用させる。 【思】人間の知覚の領域について、多様な論点や 異なる価値観と結び付けて、新たな観点から 自分の考えを深め再構成させる。 【学】イマージュの世界が人間のイマジネーションに訴える力をもっているという筆者の考えについて、具体例をもって話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。		「オブジェとイマージュ」高階秀爾 二項対立による比較対照に着目し、 評論の読み方に習熟する。 視覚でものを捉えとときの感覚的喜びを理解する。 筆者の主張を踏まえて、自分自身が 芸術に触れる際の感性を磨く。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	5	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思】人間の知覚の領域について、多様な論点や 異なる価値観と結び付けて、新たな観点から 自分の考えを深め再構成している。 【主】イマージュの世界が人間のイマジネーションに訴える力をもっているという筆者の考えについて、具体例をもって話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。			定期考査	●	●	●			
													提出物				●	●	
													小テスト			●			
		「言葉の〈意味〉と〈表徴〉」中村雄二郎 【知】効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用させる。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握させる。 【学】本文の内容を踏まえて、筆者の主張についてどう思うか話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。		「言葉の〈意味〉と〈表徴〉」中村雄二郎 評論の読み方に習熟する。 言語論における基本的な考え方への 理解を深める。 言語論を踏まえて、日本語や日本文化の問題について考察する。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	7	【知】効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主】本文の内容を踏まえて、筆者の 主張についてどう思うか話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。			定期考査	●	●	●			
													提出物				●	●	
													小テスト			●			
		1 学期中間考査						1											
		ベルリンの「内」と「外」―「舞姫」を通じて「舞姫」森鴎外 【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用させる。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握させる。 【学】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。 また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりさせる。		ベルリンの「内」と「外」―「舞姫」を通じて「舞姫」森鴎外 論文の基本的な読み方を習得する。 論理の展開を捉え、「舞姫」における都市空間と「豊太郎」の心情の表現の関わりを理解する。 論文の内容をきっかけとして、小説「舞姫」に関心を抱く。 「課題発見」「課題解決」				●	●	12	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、 論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主】論理の展開に沿って筆者の主張 を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。 また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。			定期考査	●	●	●		
														提出物				●	●
														小テスト			●		
		1 学期期末考査						1											

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】			
				話・聞	書	読									
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	「市民社会化する家族」今村仁司【知】文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用させる。 【思】「近代家族」「市民社会」について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成させる。 【学】市民社会化に抗する人間のあり方についての筆者の主要な見解を八百字程度にまとめるための工夫させる。	「市民社会化する家族」今村仁司 評論の読み方に習熟する。 緊密な論理で構成された評論文を部 分部分の相互関係を理解しながら丁寧に読み、論旨の流れを把握する。 「近代家族」や「市民社会」に対する筆者の問題意識を把握し、これからの家族のあり方について考える。 「課題発見」「課題解決」「表現」			●	6	【知】文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思】「近代家族」「市民社会」について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 【主】市民社会化に抗する人間のあり方についての筆者の主要な見解を八百字程度にまとめるための工夫をしようとしている。	定期考査	●	●	●			
			「ファンタジーワールドの誕生」今福龍太 【知】文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、活用させる。 【思】植民地主義を起点に西欧世界に受け継がれてきたプリミティブなものへの認識の変遷について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成させる。 【学】本文内容を踏まえて、筆者の考えについてどう思うか話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。	「ファンタジーワールドの誕生」今福龍太 評論の読み方に習熟する。 西欧世界による非西欧世界への認識 の変遷について考察した評論を読み、自らの文化や世界に対する見方 を捉え直す。 難解な用語や表現を含む評論文を丁寧に読み解き、筆者の主張を的確に捉える。 「課題発見」「課題解決」			●	6	【知】文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思】植民地主義を起点に西欧世界に受け継がれてきたプリミティブなものへの認識の変遷について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深め再構成している。 【主】本文内容を踏まえて、筆者の考えについてどう思うか話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●		
				2学期中間考査						1					
		地図の想像力ーボードリヤールの寓話 若林幹夫 【知】文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用させる。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握させる。 【学】本文内容を踏まえて、自分の帰属する社会だけでなく、さまざまな社会との関わりを具体的に意識し、自分の世界や社会に対するイメージを明確にしながら「世界イメージ」としての地図を作らせる。		地図の想像力ーボードリヤールの寓話 若林幹夫 評論の読み方に習熟する。 ・人が帰属するさまざまな社会とどのように関わり合っているかについて考える。 ・地図を通して、自分の世界や社会に対するイメージを明確にする。 「課題発見」「課題解決」			●	6	【知】文や文章の効果的な組み立て方 や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。 【主】本文内容を踏まえて、自分の帰属する社会だけでなく、さまざまな社会との関わりを具体的に意識し、自分の世界や社会に対するイメージを明確にしながら「世界イメージ」としての地図を作ろうとしている。	定期考査	●	●	●		
			【知】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。 【思】設問の条件に正対した解答を書かせる。 【学】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めさせる。	大学入試問題演習 「課題発見」「課題解決」			●	●	6	【知】本文の構造や表現の対応関係を理解することができる。 【思】設問の条件に正対した解答を書くことができる。 【主】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めている。	提出物	●	●	●	
				2学期期末考査						1					
			学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
		主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	大学入試問題演習 【知】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。 【思】設問の条件に正対した解答を書かせる。 【学】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めさせる。	大学入試問題演習 「課題発見」「課題解決」			●	●	18	【知】本文の構造や表現の対応関係を理解することができる。 【思】設問の条件に正対した解答を書くことができる。 【主】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めている。	提出物	●	●	●

教科		国語	科目名				古典探究演習				対象 学年	3 年	単位数	4単位	観点別評価			
使用教科書		「精選 古典探究」（第一学習社）										教科 担当	A組：末延 昭二 末安 光理 C組：末延 昭二 末安 光理			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「国語便覧」（数研出版）「完全マスター 古典文法 改訂三版」（第一学習社） 「三訂版 古文単語330」（いいずな書店） 「三訂版 体系漢文」（数研出版） 「古典完答2 2」（尚文出版） 「共通テスト+センター試験国語過去問題」（尚文出版） 「プログレス 古典総演習 発展編」（いいずな書店） 「大学入試 国語頻出問題1200 四訂版」（いいずな書店）																
教科の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																
科目の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができる力を養う。																
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		領域 話・聞 書 読		配当 時間	評価規準			評価方法						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週）	『枕草子』 【知】随想的章段・類聚的章段・日記的章段の特徴について理解を深めさせる。 【思】随想的章段・類聚的章段・日記的章段の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】本文の内容を踏まえて清少納言について調べたり、書き手としての意図について話し合ったりすることで、自分の考えを深めるとともに、活動を経て考えたことを的確にまとめさせる。		『枕草子』『五月の御精進のほど』 随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 随想的章段・類聚的章段・日記的章段のそれぞれの特色を理解する。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	12	【知】随想的章段・類聚的章段・日記的章段の特徴について理解を深めている。 【思】随想的章段・類聚的章段・日記的章段の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて清少納言について調べたり、書き手としての意図について話し合ったりすることで、自分の考えを深めるとともに、活動を経て考えたことを的確にまとめようとしている。			定期考査	●	●	●		
													提出物		●	●		
													小テスト	●	●	●		
		「不死之道」 【知】逸話という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】逸話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】成語について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めさせる。		「不死之道」 比較的短い中に完結性とテーマ性を持つ文章を読み、漢文への興味関心を高める。 たとえ話や比喻表現に注意して、話の内容を理解する。 話から読み取れる教訓や人生の知恵について理解する。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	14	【知】逸話という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】逸話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】成語について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めようとしている。			定期考査	●	●	●		
													提出物		●	●		
													小テスト	●				
		1 学期中間考査										1						
		『大鏡』 【知】敬語など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用させる。 【思】歴史物語の特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【主】本文の内容を踏まえて「大鏡」に描かれる登場人物の心情や人物像の特徴について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。		『大鏡』『中納言争ひ』 「菅原道真の左遷」 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持つ。 敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	13	【知】敬語など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 【思】歴史物語の特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて「大鏡」に描かれる登場人物の心情や人物像の特徴について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。			定期考査	●	●	●		
													提出物		●	●		
													小テスト	●				
		「荊軻」 【知】史伝という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】「史記」について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めさせる。		「荊軻」 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。 「逸話」よりもやや長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 荊軻の活躍した戦国時代の概要を理解する。 「史記」の概要と、編年体の記述の特徴について理解する。 「課題発見」「課題解決」「表現」				●	11	【知】史伝という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】「史記」について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めようとしている。			定期考査	●	●	●		
													提出物		●	●		
													小テスト	●				
1 学期期末考査										1								

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				話・聞	書	読						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	「深草の里」 【知】歌論という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめさせる。 【学】歌論の文学史的な位置付けや内容について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら学んだことを的確にまとめさせる。	「深草の里」 歌論を読んで、作者の和歌についての思想を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 紀貫之と「古今和歌集」の文学史的位置づけを理解する。 「課題発見」「課題解決」			●	13	【知】評論という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめている。 【主】歌論の文学史的な位置付けや内容について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら学んだことを的確にまとめようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	● ●	● ●	● ●
		漢文「文章」 【知】文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】名文と呼ばれる文章を読み、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】本文の内容を踏まえて登場人物像について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。	文章「賢母辞拾遺」 名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。 作品が書かれた当時の社会状況を踏まえ、作者の主張を理解する。 「課題発見」「課題解決」			●	12	【知】文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 【思】名文と呼ばれる文章を読み、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて登場人物像について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	● ●	● ●	● ●
		2学期中間考査						1				
		『源氏物語』 【知】文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】長編物語を読み、そのストーリーをたどりながら、心理描写の巧みさなどを的確に捉えさせる。 【学】本文の内容を踏まえて登場人物像について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。	『源氏物語』『葵の上の出産』『紫上の死』 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。 敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 「課題発見」「課題解決」「表現」			●	13	【知】文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 【思】長編を読み、そのストーリーをたどりながら、心情描写の巧みさなどを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて登場人物像について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	● ●	● ●	● ●
		『史記』 【知】史伝という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】本文の内容を踏まえて人物像などについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。	『史記』『張儀』 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。 長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 張儀の生きた戦国時代の概要を理解する。 「史記」の概要と、列伝の記述の特徴について理解する。 「課題発見」「課題解決」			●	12	【知】史伝という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて人物像などについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査 提出物 小テスト	● ●	● ●	● ●
		2学期期末考査						1				
		大学入試問題演習 【知】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。 【思】設問の条件に正対した記述型解答を書かせる。 【学】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めさせる。	大学入試問題演習 「課題発見」「課題解決」			●	36	【知】本文の構造や表現の対応関係を理解することができる。 【思】設問の条件に正対した記述型解答を書くことができる。 【主】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めようとしている。	提出物	●	●	●

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				話・聞	書	読						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	大学入試問題演習 【知】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。 【思】設問の条件に正対した記述型解答を書かせる。 【学】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めさせる。	大学入試問題演習 「課題発見」「課題解決」			●	36	【知】本文の構造や表現の対応関係を理解することができる。 【思】設問の条件に正対した記述型解答を書くことができる。 【主】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めようとしている。	提出物	●	●	●

教科		国語	科目名		現代文演習				対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書		「探求論理国語」（桐原書店）							教科 担当	A組：小菌修平 B組：小菌修平 C組：小菌修平 D組：小菌修平			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「上級現代文Ⅰ 改訂版」（桐原書店）														
教科の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。														
科目の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができる力を養う。														
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		領域 話・書・読			配当 時間	評価規準			評価方法				
な 学 習 内 容 と 授 業 時	1 学 期 （ 1 3 週）	評論 【知】本文中の重要語や慣用句の意味を国語辞典などを用いて調べさせる。 【思】評論特有の難解な語彙について、正しく理解させる。 【学】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。	評論 9 作品・「言い換え」 「課題発見」「課題解決」「表現」			●	●	6	【知】本文中の重要語や慣用句の意味を国語辞典などを用いて調べている。 【思】評論特有の難解な語彙について、正しく理解している。 【主】本文の構造や表現の対応関係を理解しようとしている。			定期考査	●	●	●	
												提出物		●	●	
												小テスト				
		1 学期中間考査（授業内考査）							2							
		評論 【知】本文中の重要語や慣用句の意味を国語辞典などを用いて調べさせる。 【思】評論特有の難解な語彙について、正しく理解させる。 【学】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。	評論 9 作品・「内容の説明」 評論 6 作品・「理由の説明」 「課題発見」「課題解決」「表現」			●	●	10	【知】本文中の重要語や慣用句の意味を国語辞典などを用いて調べている。 【思】評論特有の難解な語彙について、正しく理解している。 【主】本文の構造や表現の対応関係を理解しようとしている。			定期考査	●	●	●	
												提出物		●	●	
												小テスト	●			
		1 学期期末考査（授業内考査）							2							

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				話・聞	書	読						
な 学 習 内 容 と 授 業 時	2 学 期 （ 1 3 週 ）	評論 【知】本文中の重要語や慣用句の意味を国語辞典などを用いて調べさせる。 【思】評論特有の難解な語彙について、正しく理解させる。 【学】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。	評論3作品・「要約」 評論または小説9作品・「表現の説明」 「課題発見」「課題解決」「表現」		●	●	8	【知】本文の構造や表現の対応関係を理解することができる。 【思】設問文の正確な理解ができる。 主だったパターンの記述型解答の仕方を知る。 【主】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		2学期中間考査（授業内考査）						2				
		大学入試問題演習 【知】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。 【思】設問文の正確な理解をさせる。 主だったパターンの記述型解答の仕方を学ばせる。 【学】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めさせる。	大学入試問題演習 「課題解決」「表現」		●	●	12	【知】本文の構造や表現の対応関係を理解することができる。 【思】設問文の正確な理解ができる。 主だったパターンの記述型解答の仕方を知る。 【主】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		2学期期末考査（授業内考査）						2				

教科		国語	科目名		理系古典演習			対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価						
使用教科書		「高等学校 精選 古典探究」第一学習社						教科 担当	B組：渡邊 綾子 C組：渡邊 綾子	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
補助教材		「プレミアムカラー 国語便覧」（数研出版） 「完全マスター 古典文法」（第一学習社） 「三訂版 古文単語330」（いいずな書店） 「大系漢文 三訂版」（数研出版） 「共通テスト国語過去問題」（尚文出版） 「共通テスト対策古典完答2 2」（尚文出版） 「プログレス 古典総合演習発展編」（いいずな書店）																
教科の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																
科目の目標		【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を延ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わることができる力を養う。																
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		領域 話・聞 書 読		配当 時間	評価規準		評価方法							
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週）	『枕草子』 【知】随想的章段・類聚的章段・日記的章段の特徴について理解を深めさせる。 【思】随想的章段・類聚的章段・日記的章段の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】本文の内容を踏まえて清少納言について調べたり、書き手としての意図について話し合ったりすることで、自分の考えを深めるとともに、活動を経て考えたことを的確にまとめさせる。		『枕草子』 「五月の御精進のほど」 随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 随想的章段・類聚的章段・日記的章段のそれぞれの特色を理解する。 「課題発見」 「課題解決」 「表現」				●	6	【知】随想的章段・類聚的章段・日記的章段の特徴について理解を深めている。 【思】随想的章段・類聚的章段・日記的章段の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて清少納言について調べたり、書き手としての意図について話し合ったりすることで、自分の考えを深めるとともに、活動を経て考えたことを的確にまとめようとしている。		定期考査	●	●	●			
												提出物		●	●			
												小テスト	●	●	●			
		『逸話』 【知】逸話という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】逸話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】成語について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めさせる。		「不顧後患」 比較的短い中に完結性とテーマ性を持つ文章を読み、漢文への興味関心を高める。 たとえ話や比喩表現に注意して、話の内容を理解する。 話から読み取れる教訓や人生の知恵について理解する。 「江南の橘、江北の枳となる」という言葉の意味と由来を理解する。 晏子など歴史上の人物について関心を持ち、人物像について考察する。 「課題発見」 「課題解決」 「表現」				●	6	【知】逸話という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】逸話という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】成語について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めようとしている。		定期考査	●	●	●			
												提出物		●	●			
												小テスト	●					
		1 学期中間考査												1				
		『大鏡』 【知】敬語など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用させる。 【思】歴史物語の特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【主】本文の内容を踏まえて「大鏡」に描かれる登場人物の心情や人物像の特徴について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。		『大鏡』 「三舟の才」 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 老人二人が語るという形式を用いた「大鏡」の構成の特色とおもしろさを知り、歴史物語というジャンルに関心を持つ。 敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 「課題発見」 「課題解決」 「表現」				●	6	【知】敬語など、本文を読むために必要な文語のきまりについて理解を深め、その知識を活用している。 【思】歴史物語の特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて「大鏡」に描かれる登場人物の心情や人物像の特徴について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。		定期考査	●	●	●			
												提出物		●	●			
												小テスト	●					
		『史記』 【知】史伝という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】「史記」について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めさせる。		『史記』 「荊軻」 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を楽しむ。 「逸話」よりもやや長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 荊軻の活躍した戦国時代の概要を理解する。 「十八史略」の概要と、編年体の記述の特徴について理解する。 「課題発見」 「課題解決」 「表現」				●	6	【知】史伝という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】「史記」について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら理解を深めようとしている。		定期考査	●	●	●			
												提出物		●	●			
												小テスト	●					
1 学期期末考査												1						

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				話・聞	書	読						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	『俊頼髓脳』『無名抄』 【知】評論という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】「和歌」を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめさせる。 【学】文学史的な位置付けや内容について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら学んだことを的確にまとめさせる。	「歌のよしあし」「深草の里」 歌論を読んで、作者の和歌についての思想を読み取る。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 「古今和歌集」「新古今和歌集」各時代の和歌について文学史的位置づけを理解する。 「課題発見」「課題解決」			●	6	【知】評論という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】「和歌」を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を的確にまとめている。 【主】文学史的な位置付けや内容について、様々な参考資料等を積極的に参照しながら学んだことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		「諸家の文章」 【知】文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】名文と呼ばれる文章を読み、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】本文の内容を踏まえて屈原と漁夫の人物像について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。	「医薬談笑」 名文と呼ばれる文章を読み、作者のものの見方や考え方を理解する。 作者屈原と、屈原らの辞を収めた「楚辞」について理解する。 「辞」という文体と文章中の表現の関連について理解する。 作品が書かれた当時の社会状況を踏まえ、作者の主張を理解する。 「課題発見」「課題解決」			●	6	【知】文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 【思】名文と呼ばれる文章を読み、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて人物像について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		2学期中間考査						1				
		『源氏物語』 【知】文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】名文と呼ばれる文章を読み、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】本文の内容を踏まえて屈原と漁夫の人物像について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。	『源氏物語』「柏木と女三宮」 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 「源氏物語」の構成や内容について関心を持つ。 敬語について、その種類や敬意の対象を正確に捉え、現代語訳に反映させる。 「課題発見」「課題解決」「表現」			●	6	【知】文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、その知識を活用している。 【思】名文と呼ばれる文章を読み、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて人物像について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		『史記』 【知】史伝という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用させる。 【思】史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えさせる。 【学】本文の内容を踏まえて人物像などについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめさせる。	『史記』「廉頗と藺相如」 人間や人間関係を生き生きと描いた史伝の魅力を味わう。 長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高める。 「完璧」「刎頸の交わり」の成語の由来を理解する。 廉頗と藺相如の生きた戦国時代の概要を理解する。 「史記」の概要と、列伝の記述の特徴について理解する。 「課題発見」「課題解決」			●	6	【知】史伝という文章の種類とその特徴について理解を深め、その知識を活用している。 【思】史伝という文章の種類を踏まえ、その特徴を理解しながら、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】本文の内容を踏まえて人物像などについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	定期考査	●	●	●
									提出物		●	●
									小テスト	●		
		2学期期末考査						1				
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域			配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				話・聞	書	読						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	大学入試問題演習 【知】本文の構造や表現の対応関係を理解させる。 【思】設問の条件に正対した記述型解答を書かせる。 【学】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めさせる。	大学入試問題演習 「課題発見」「課題解決」			●	18	【知】本文の構造や表現の対応関係を理解することができる。 【思】設問の条件に正対した記述型解答を書くことができる。 【主】入試頻出の分野について論じた評論を読み、理解を深めようとしている。	提出物	●	●	●

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		地理歴史	科目名	地理総合演習		対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書	「新詳高等地図」 （帝国書院）					教科 担当	B組：松崎 友紀子 C組：松崎 友紀子	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材	「地理資料」 （とうほう） 「データブック オブ・ザ・ワールド」 （二宮書店） 「ウィニングコンパス」 （とうほう）											
教科の目標		【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や多文化主義の考え方を尊重することなどの自覚を深める。										
科目の目標		【知識及び技能】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深める。										
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週）	地図と地理情報システム 【知】現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	緯度が違う地域の具体的様子を写真等を使い比較する。 時差があることによってどのようなことに気を付けなくてはいいけないか、考える。 図法によって正しく表現できる事象とそうでない事象があることを整理する。 それぞれの地図の用途を考える。 統計地図のそれぞれの特徴をおさえ使用例を考える。 絶対分布図と相対分布図の違いを理解する。 国家の三要素について理解し、日本の排他的経済水域の特徴をおさえる。 日本の領土をめぐる問題と現在の状況について理解する。 現在のロシアとウクライナの問題に触れながら、国際関係、国連が果たす役割、貿易への影響について考える。 交通網の発達や技術向上によって時間距離の短縮が図られたことを理解する。 それぞれの交通の特徴をおさえる。 世界遺産やエコツーリズム等の普及によって、多様な観光の形態が生まれていることに気付く。 コロナ禍での観光の在り方について模索する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	単元テスト		●	●	●		
		結び付きを深める現代世界 【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。 【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	変動帯のプレート境界で起きる火山活動や地震について特徴を整理する。 安定陸塊と変動帯で生きる人々の生活の違いに気付く。 河川が作る地形と生活の関わりについて、上・中流域、下流域の違いを整理する。 自分たちの住んでいる地域がどの地形に該当するのか、調べる。 気候要素について整理をし、大気大循環について理解を深める。 気候の人々の生活への影響について、事例をもとに考察する。 ケッペンの気候区分について理解し、熱帯地域に暮らす人々の生活の工夫について考察する。 乾燥帯という厳しい環境に生きる人々の水を得るための工夫、快適に過ごすための工夫について考察する。 4種類ある温帯のそれぞれの特徴を整理し、その環境下で生きる人々の生活の知恵や工夫について考察する。 亜寒帯や寒帯の植生や土壌が住環境や食生活に与える影響を考察する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	単元テスト		●	●	●		
		1 学期中間考査										
		生活文化の多様性と国際理解 【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。 【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	オセアニアが太平洋に浮かぶ熱帯の島々と、新期造山帯で西岸海洋性気候のニュージーランド、地域によって自然環境が異なるオーストラリアに大きく分けられることを知り、それぞれの自然環境について整理をする。 オセアニアの国々が自然環境を活かした農業や観光業、鉱産資源を活かした貿易等が盛んであることを知る。 季節風が東南アジアの人々に与える影響を考察する。 歴史的な背景から、それぞれの国・地域が信仰している宗教の違いを整理する。 東南アジアの気候を活かした農業と、それに関わる人々の生活について考察する。 植民地支配が人々の生活に与えた影響を考察する。 宗教によって規定されている人々の生活と、地域による差異について整理する。 イスラーム人口の多い中東地域で産出される石油の利益で、人々の生活がどのように変容したかを知る。 イスラーム女性の社会進出について意見を交換する。 民族宗教としてインドの人々に影響を与えるヒンドゥー教の考え方、制度等について知る。 変容するインドの農業や食生活について考察する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	単元テスト		●	●	●		
		生活文化の多様性と国際理解 【知】人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察する。 【学】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	ラテンアメリカの生活文化に植民地支配の影響が色濃く残っていることを知る。 ラテンアメリカの伝統的な農業が植民地支配の影響を受けて成立したものであることを知る。 アフリカの民族・生活文化が「北アフリカ」と「サブサハラ(サハラ以南のアフリカ)」に分けられることを知りそれぞれの地域の歴史的背景について理解を深める。 特にサブサハラ地域のモノカルチャー経済、経済格差、紛争、民族問題等について問題意識を持ち、原因究明や問題解決に向けて行動する。 ロシアの歴史的背景、そこで生きる人々の生活文化について理解を深める。 アメリカのICT産業の普及、ヨーロッパの地域統合等が世界やそこで暮らす人々の生活に与える影響を調べる。 経済成長著しい中国が世界に与えた影響を考察する。 中国国内における人々の生活の変容を捉える。 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	単元テスト		●	●	●		

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	地球的課題と国際協力 【知】 地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 【思】 地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	SDGsの視点から、地球的課題の解決に向けて「今」「私たち」にできることは何なのか考える。 世界中で行われている様々な取り組みを知る。 地球環境問題が発生している地域の地理的特徴について整理する。 その環境問題が発生する自然的・社会的要因を考察し、有用な解決策を模索する。 各国のエネルギーの利用の変化をグラフから読み取り、その要因を考察する。 各国のエネルギー問題についての取り組みを調べる。 発展途上国と先進国で人口ピラミッドがどのように異なるかを読み取り、整理する。 発展途上国と先進国の人口問題の解決に必要なものは何か、それぞれ考察する。 先進国と発展途上国の食糧問題がどのように関連し合っているかを考察し、解決策を模索する。 世界の大都市が分布している地域の特徴を考察する。 世界各地で発生する都市問題について理解を深める。 グループで関係図にまとめ、第1時～第6時までの問題がどのように関連し合っているのかについて整理する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 【思】 地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	単元テスト	●	●	●
		自然環境と防災 【知】 地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 【思】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	日本の河川と世界の河川の特徴について整理し、起きやすい災害を考察する。 日本各地の気候の違いに着目し、それぞれの地域で起きやすい災害を考察する。 海溝型地震と直下型地震の特徴について整理し、過去に起きた震災の被害を確認する。 海溝型地震の際に発生する津波の被害が起きやすい地域と起きにくい地域では何が違うのか、考察する。 火山の恵みと災害にはどのような種類があるかを整理し、それが日本に住む人々に与える影響を整理する。 気象災害の種類を整理し、場所によってどのような違いが生まれるのかを考察する。 気象災害に対して行われている取り組みを整理し、その課題を考察する。 防災、減災のハード面での対策とソフト面での対策をそれぞれ整理する。 被災地への支援について、短期的な支援と長期的な支援に分けて整理をする。 身近な生活圏でどのような地理的課題が見られるかを調査するため、文献や新聞記事等を探し研究する。 実際に現地調査を行い、調査結果をまとめ、発表をする。 「課題発見」「課題解決」「表現」	6	【知】 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	単元テスト	●	●	●
		2学期中間考査							
		総合演習 【知】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けること。 【思】 地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うこと。 【学】 地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深めること。	入試問題演習	12	【知】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】 地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。 【主】 地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深めている。	単元テスト	●	●	●
		2学期期末考査							
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	総合演習 【知】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けること。 【思】 地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うこと。 【学】 地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深めること。	共通テスト問題演習	18	【知】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】 地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。 【主】 地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深めている。	提出物	●	●	●

教科		地理歴史	科目名	地理探究演習	対象 学年	3 年	単位数	6単位	観点別評価			
使用教科書	「新詳地理探究」（帝国出版）「新詳高等地図」（帝国書院）				教科 担当	A組：松崎 友紀子 C組：松崎 友紀子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材	「地理資料」（とうほう）「データブック オブ・ザ・ワールド」（二宮書店） 「ウィニングコンパス」（とうほう）											
教科の目標	【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる今日的な課題の解決に向けての構想力、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する深い理解、他国や多文化主義の考え方を尊重することなどの自覚を深める。											
科目の目標	【知識及び技能】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深める。											
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容	配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 3 週）	自然環境 【知】地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。		地球環境と人間 地形(地形の成因と地球表面の起伏,地球規模の大地形,河川流域と海岸にみられる小地形,そのほかの特徴的な小地形) 気候(気候の成り立ち,気候と生態系,世界の気候区分,さまざまな気候帯,気候変動と異常気象) 日本の自然環境(日本の地形,日本の気候,開発に伴う災害と防災・減災の取り組み) 地球環境問題(地球環境問題とは,さまざまな地球環境問題,地球環境問題の解決に向けた取り組み) 「課題発見」「課題解決」「表現」	15	【知】地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		発表		●	●	
		資源と産業 【知】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象の、空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。		農林水産業(農業の発達と分布,農業の地域区分,現代世界の農業の現状と課題,日本の農業の現状と課題,世界と日本の林業,世界と日本の水産業) 食料問題(世界の食料問題,日本の食料問題) エネルギー・鉱産資源(エネルギー資源の種類と利用,化石燃料の分布と利用,電力の利用,鉱産資源の種類と利用) 資源・エネルギー問題(資源・エネルギーをめぐる課題,日本の資源・エネルギー問題) 工業(工業の発達と種類,工業の立地,世界の工業地域,現代世界の工業の現状と課題,工業の知識産業化とスタートアップ企業,日本の工業) 第3次産業(経済発展と第3次産業,商業の現状と変化,商業以外のさまざまな第3次産業) 「課題発見」「課題解決」「表現」	15	【知】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		発表		●	●	
		1 学期中間考查			1							
		交通・通信と観光、貿易 【知】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。		交通・通信(世界を結ぶ交通,日本の交通の特徴,情報通信の発達) 観光(余暇の拡大と観光産業,日本の観光とその変化) 貿易と経済圏(世界の貿易と地域間格差,貿易の自由化と経済連携,日本の貿易) 「課題発見」「課題解決」「表現」	15	【知】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		発表		●	●	
		人口、村落・都市 【知】人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとすること。		人口(世界の人口,人口の移動) 人口問題(世界の人口問題,日本の人口問題) 村落と都市(集落の成り立ち,村落の形態と機能,都市の成立と形態・機能,都市圏の拡大と都市の構造) 都市・居住問題(発展途上国の都市・居住問題,先進国の都市・居住問題,日本の都市・居住問題) 「課題発見」「課題解決」「表現」	15	【知】人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		発表		●	●	
		生活文化、民族・宗教 【知】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。 【思】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】生活文化、民族・宗教についてよりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究すること。		衣食住(世界の衣服と食生活,世界の住居と衣食住の画一化) 民族・宗教と民族問題(世界の民族・言語,世界の宗教,さまざまな民族問題,多文化の共生に向けた取り組み) 国家の領域と領土問題(現代世界と国家,領土問題と解決への取り組み,日本の領域と領土をめぐる問題) 「課題発見」「課題解決」「表現」	16	【知】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。		発表		●	●	
								定期考查		●	●	●

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	現代世界の地域区分 【知】世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解すること。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけること。いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解すること。 【思】世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学】現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	地域区分(地域区分の意義と指標) 地域の考察方法(地誌的な考察方法) 中国-項目ごとに整理して考察(中国の政治体制と多様な民族、中国の食生活と農業・水産業、中国の工業化と海外進出、経済発展に伴うさまざまな課題) 韓国-項目ごとに整理して考察(韓国の歴史と生活文化、産業の発展と生活の変化) ASEAN諸国-項目ごとに整理して考察(ASEAN諸国の歴史と文化・民族、ASEAN諸国の農業とその変化、ASEAN諸国の工業とその発展、ASEANの変化と課題) インド-経済成長に関連づけて考察(急速な経済成長を支えた産業の発展、増加する人口と農村の変化、インド社会の変化と経済格差の拡大) 西アジアと中央アジア-地域を比較して考察(イスラームと人々の生活文化、交易の歴史と乾燥地域の農業、豊富な資源を生かして進められる開発) 「課題発見」「課題解決」「表現」	23	【知】世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につけている。いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 【思】世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	発表		●	●
		現代世界の諸地域 【知】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解すること。現代世界におけるこれらの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解すること。 【思】現代世界におけるこれらの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現すること。 【学】持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとする。	北アフリカとサハラ以南アフリカ-地域を比較して考察(歴史的な背景によって形成された多様な文化、他地域との結びつきと人々の生活の変化、一次産品への依存とそれがもたらす課題) EU諸国-項目ごとに整理して考察(EUの成り立ちと結びつき、ヨーロッパの多様な農業と政策、移り変わるEUの工業、EU拡大による影響と課題) ロシア-国家体制の変化に関連づけて考察(ロシアの成り立ちと体制変化、体制変化が産業にもたらした影響と課題) アメリカ合衆国-項目ごとに整理して考察(移民国家としてのアメリカ合衆国の発展、世界の食料生産の鍵を握るアメリカ合衆国、進展する科学技術と産業、多民族社会と移民増加に伴う課題) ラテンアメリカ-歴史的背景と関連づけて考察(ヨーロッパの影響が強い社会、大土地所有制と農業の変化、工業化の進展と経済発展) オーストラリアとニュージーランド-国を比較して考察(移民の歴史と多文化社会、自然の恵みを生かして発達した産業、強まるアジア・太平洋圏との結びつき) 将来の国土の在り方(日本の強みと地理的な課題) 持続可能な日本の国土像の探究(課題の把握、課題の追究、課題の解決) 「課題発見」「課題解決」「表現」	23	【知】いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。現代世界におけるこれらの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 【思】現代世界におけるこれらの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 【主】持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	発表		●	●
						定期考査	●	●	●
		2学期中間考査		1					
		総合演習 【知】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けること。 【思】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うこと。 【学】地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深めること。	入試問題演習	30	【知】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。 【主】地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深めている。	発表		●	●
		2学期期末考査		1		定期考査	●	●	●
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	総合演習 【知】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けること。 【思】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うこと。 【学】地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深めること。	共通テスト問題演習	54	【知】地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【思】地理に関わる事象の意味や意義、特徴や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。 【主】地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養っているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国が抱える地理的な諸課題についての関心、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することの大切さについての意識を深めている。	提出物	●	●	●

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		地理歴史	科目名			日本史探究演習	対象 学年	3 年	単位数	6単位	観点別評価		
使用教科書		「詳説日本史」 （山川出版社）					教科 担当	A組：松浦 大樹 C組：松浦 大樹			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「改訂版日本史用語集」 （山川出版社） 「新詳日本史」 （浜島書店） 「詳録新日本史史料集成」 （第一学習社） 「日本史重要語句Check List」 （啓隆社） 「新課程 4 ステージ演習ノート 日本史」 （数研出版）											
教科の目標		【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。											
科目の目標		【知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。											
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容			配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 3 週 ）	近現代史の演習 【知】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解させる。 【思】 歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できるようにする。 【学】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 「課題発見」 「課題解決」 「表現」			38	【知】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。 【思】 歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できる。 【主】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度身に付けている。		定期考査	●	●		
		1 学期中間考査			1			提出物			●		
		近現代史の演習 【知】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解させる。 【思】 歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できるようにする。 【学】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	近代産業の発展 近代文化の発展 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 占領と改革 冷戦の開始と講和 5 5 年体制 経済復興から高度経済成長へ 経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容 現代日本の課題の探究 「課題発見」 「課題解決」 「表現」			38	【知】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。 【思】 歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できる。 【主】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度身に付けている。		定期考査	●	●		
		1 学期期末考査			1			提出物			●		
		1 学期期末考査			1								

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	原始古代の演習 【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解させる。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できるようにする。 【学】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	文化の始まり 農耕社会の成立 古墳文化の展開 飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 律令国家の文化 律令国家の変容 摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できる。 【主】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度身に付けている。	定期考査	●	●	
						提出物			●
		中世の演習 【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解させる。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できるようにする。 【学】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	院政の始まり 院政と平氏政権 鎌倉幕府の成立 武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化 室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場 「課題発見」「課題解決」「表現」	13	【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できる。 【主】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度身に付けている。	定期考査	●	●	
						提出物			●
		近世の演習 【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解させる。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できるようにする。 【学】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化 幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化 「課題発見」「課題解決」「表現」	13	【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できる。 【主】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度身に付けている。	定期考査	●	●	
						提出物			●
		2学期中間考査		1					
		総合演習 【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解させる。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できるようにする。 【学】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	入試問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	38	【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できる。 【主】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度身に付けている。	定期考査	●	●	
						提出物			●
		2学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	総合演習 【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解させる。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できるようにする。 【学】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	共通テスト問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	54	【知】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解している。 【思】歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明できる。 【主】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度身に付けている。	提出物	●	●	●

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		地理歴史	科目名	世界史探究演習	対象 学年	3 年	単位数	6単位	観点別評価			
使用教科書					教科 担当	A組：明石 卓 C組：明石 卓			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材												
「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院） 「世界史用語集」（山川出版社） 「詳説世界史ノート」（山川出版社） 「世界史重要語句チェックリスト」（啓隆社）												
教科の目標												
【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。												
科目の目標												
【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。												
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	諸地域の交流・再編 【知】史料から情報を読み取ったり、まとめたりする技術を身に付けることができる。 【思】諸地域の交流・再編にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、自称相互の関連諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問を表現する 【学】諸地域の交流・再編について自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	イスラームの伝番と西アジアの動向 ヨーロッパ化の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 大交易・大交流の時代 アジア諸帝国の繁栄 近世ヨーロッパの動向 「課題発見」「課題解決」「表現」		30	【知】史料から情報を読み取ったり、まとめたりする技術を身に付けている。 【思】諸地域の交流・再編にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、自称相互の関連諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問を表現している。 【主】諸地域の交流・再編について自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		考査・小テスト		●	●	●
		1 学期中間考査		1								
		諸地域の統合・変容 【知】史料から情報を読み取ったり、まとめたりする技術を身に付けることができる。 【思】諸地域の結合・変容にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、自称相互の関連諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問を表現する 【学】諸地域の結合・変容について自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	産業革命と韓大西洋革命 イギリスの優位と欧米の国民国家 アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 第一次世界大戦と世界の変容 第二次世界大戦と新しい秩序の国際体制 「課題発見」「課題解決」「表現」		46	【知】史料から情報を読み取ったり、まとめたりする技術を身に付けている。 【思】諸地域の結合・変容にかかわる諸事象の背景や原因、結果や影響、自称相互の関連諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問を表現している。 【主】諸地域の結合・変容について自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		考査・小テスト		●	●	●
		1 学期期末考査		1								
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	地球世界の課題 【知】冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどと合わせて理解する。 【思】写真や映像などの視覚的資料や、統計資料などを活用し、冷戦下における東西陣営の社会の変容を多面的。多角的に考察し、表現する。 【学】冷戦の展開について、自分が抱いた興味関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、自通しを持って学習する。	冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界 「課題発見」「課題解決」「表現」		46	地球世界の課題 【知】冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどと合わせて理解している。 【思】写真や映像などの視覚的資料や、統計資料などを活用し、冷戦下における東西陣営の社会の変容を多面的。多角的に考察し、表現している。 【主】冷戦の展開について、自分が抱いた興味関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、自通しを持って学習している。		考査・小テスト		●	●	●
		2 学期中間考査		1								
		大学入試問題演習	問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	30	【知】これまで学習した内容が知識として定着している。 【思】初見の資料から歴史的事項を読み取ることができる。 【主】間違えた問題にたいし、なぜ解けなかったのかを考え、学習している。		考査・小テスト		●	●	●	
		2 学期期末考査		1								

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	大学入試問題演習	問題演習 「課題発見」 「課題解決」 「表現」	54	【知】 これまで学習した内容が知識として定着している。 【思】 初見の資料から歴史的事項を読み取ることができる。 【主】 間違えた問題にたいし、なぜ解けなかったのかを考え、学習している。	小テスト	●	●	●

教科		公民	科目名		倫理	対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書		「高等学校 新倫理」（清水書院）				教科 担当	A組：越田年彦 B組：越田年彦 C組：越田年彦			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「最新図説 倫理」（浜島書店） 「ウィニングコンパス」（とうほう）											
教科の目標		【知識及び技能】人間の在り方・生き方に資する知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】自分の生き方や現代における社会的諸問題を思考し、判断し、それを表現する力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】自分の在り方を省察する態度や現代社会の諸問題に関心を持ち、追究・解決しようとする態度を養う。											
科目の目標		【知識及び技能】古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】自立した人間として、他者と共によりよく生きる自己の生き方について、より深く思索することができる。 【学びに向かう力、人間性等】人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。											
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週）	「人間とは何か」 さまざまな人間観の理解を通して人間の多様な在り方に思索を向けさせるとともに、人間存在への問いから現代の諸課題を探究することを理解させる。		人間とは何か 問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		2	【知】人間観に関するさまざまな概念を理解し、説明することができる。 【思】人間存在への問いから現代の諸課題を解決する手がかりを考察しようとしている。 【主】人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。		考查 提出物		●	●	●
		「個性的な主体としての自己」 心のあり方を科学的に探究してきた心理学の知見を手がかりに、個性やパーソナリティに着目して、青年期の課題を踏まえ豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。		心の機能と個性 パーソナリティの形成と「私」 問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		4	【知】パーソナリティに関するさまざまな理論を理解し、個性や人間の行動を多面的・多角的に説明することができる。 【思】個性や行動の原因に関する心理学的な知見から、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 【主】パーソナリティに関する理論を手がかりにして、自己の課題や人間としての在り方生き方について主体的に追究しようとしている。		考查 提出物		●	●	●
		「哲学の始源：ギリシア思想」 西洋社会の根幹にあり、現代の合理主義の由来となる古代ギリシアの思想の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。 古代ギリシアの理性をもつ人間という人間観の理解を通して、自分の考えを論理的、批判的に吟味する力や対話する力などを身につけることが大切であることを自覚させる。		神話から哲学へー自然哲学者たち 知と徳をめぐる問いーソクラテス 理想主義的なあり方ープラトン 現実主義的なあり方ーアリストテレス 幸福をめぐる問いーヘレニズムの思想 問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		6	【知】古代ギリシアの先哲が論じた人間観や人生観を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。 【思】古代ギリシアの思想の知見を用いて、人間存在及び他者と共によりよく生きる自己の生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 【主】人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。		考查 提出物		●	●	●
		「唯一神の宗教：キリスト教・イスラーム教」 ・世界宗教としてのキリスト教とイスラーム教の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。 ・ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の一神教が神と人間の関係をどのように捉えたか、相互の比較を通して理解を深める。		キリスト教 ユダヤ教 イエスの思想 世界宗教への展開 戒律と平等の教えーイスラーム教 問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		4	【知】ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の倫理に関する諸概念を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。 【思】イエスの言行やパウロの言葉、古代・中世のキリスト教神学の知見を用いて、人間としてのよりよい生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。 【主】宗教における倫理に関する諸概念の学習を通して、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。		考查 出物 提		●	●	●
		「東洋思想の源流：仏教・儒教」 ・世界宗教としての仏教の知見を手掛かりに、幸福、愛、徳に着目して、人間としての在り方生き方についての思索を深める。 ・仏教の人間観や人生観を理解し、生の苦悩とその克服といった課題を、自己の課題と重ね合わせて考察させる。 ・仏教の生命あるもの全てに対する慈悲の教えを通して、共同体の在り方や人間相互のつながりについて自己の課題と結び付けて考察させる。 ・孔子や孟子の言行や宋学の思想の理解を通して、人間についての見方や、望ましい人間関係の在り方について自己の課題と結び付けて思索を深める。 ・老子や荘子の思想における人間観を理解し、人間としての在り方生き方についての思索を深める。		智慧と慈悲の教えー仏教 バラモン教 仏陀の思想 仏教とその後の展開 仁と礼の教えー儒教 儒家の教え 儒教の展開 道家の思想 問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		5	【知】仏教、儒教、道家の思想の倫理に関する諸概念を、原典資料から適切に読み取り、理解を深めることができる。それらの諸概念を自己の課題と結び付けて説明することができる。 【思】『論語』『孟子』など原典資料の読解を通して、人間としてのよりよい生き方についての考察を深め、適切に表現することができる。また、性善説や性悪説といった対立する視点から現代の様々な課題を考察する。 【主】仏教や儒教における倫理に関する諸概念の学習を通して、人間について深い洞察をおこない、また共感的理解の重要性について理解しようとしている。		考查 出物 提		●	●	●
		「自然や科学技術をめぐる諸課題」「社会や文化にかかわる諸課題」 ・現代の科学技術の進展に伴い生起した新たな倫理的諸問題についてその課題を理解させるとともに、問題解決に向けて主体的にかつ公正に判断する。 ・先哲を含む他者との対話を通して、福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見いだし、その解決に向けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述させる。		環境と倫理 生命と倫理 科学技術の発展とその課題 文化や宗教の多様性と倫理 国際平和と人類の福祉 「課題発見」「課題解決」「表現」		4	【知】 生命、環境、協働、共生等の倫理的課題に対して、関連する概念や理論を適切に活用できる。 【思】生命、環境、情報、福祉、文化と宗教、平和などについての倫理的課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述できる。 【主】生命、環境、情報、福祉、文化と宗教、平和などについての倫理的課題の探究を通して、多様な他者との対話を通して、他者と共に生きる主体として自己を確立しようとしている。		考查 出物 提		●	●	●
				1 学期期末考查			1						
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】

主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期	「世界と人間をめぐる研究」 ・人間の尊厳を論じたルネサンス、宗教改革、モラリストの思想を通して、幸福、愛、徳に着目して、人生への問いや人間の存在や価値について、自己の課題と結び付けて考察させる。 ・自然と人間との関わりや世界を捉える知の在り方を論じた近代科学の思考法、経験論と合理論を通して、真理や存在に着目して、人間の認識と経験を考察させる。	人間の尊厳 真理の認識—経験論と合理論 問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	20	【知】ルネサンスや宗教改革、モラリストの思想家らの人間観に関する基本的な知識を身に付けている。ルネサンス期の絵画や造形作品を通して、近代の人間像を読み取ることができる。 【思】ルネサンスや宗教改革、モラリストの思想家らの様々な人間の見方や人生の捉え方を通して、人間としての在り方生き方について思索を深め、適切に表現できる。 【主】人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について、自己の人生観や人間観と結び付けて主体的に追究しようとしている。	考 査 提 出 物	●	●	●
	1 3 週	「日本の風土と精神文化」 日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、日本人の心情や考え方と風土との関わり、また日本的な美意識や自然との関わりに着目して、日本人としての自己意識と結び付けて、理解させる。	風土と日本人の生活 日本における神の観念 神と仏の出会い 問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	5	【知】原始神道に見られる人間と自然との関わりについての意識、日本人の死生観、善悪についての道徳観、自然への感じ方を、原典資料や芸術作品を通して、適切に読み取り、理解することができる。 【思】古代の日本人の考え方を手掛かりとして、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。 【主】日本人としての在り方生き方についての根源的な問いを探究することで、国際社会に生きる日本人として主体的に生きていくために必要な能力を身に付けようとしている。	考 査 出 物 提	●	●	●
		2学期期末考査		1					

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
工 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	『日本の近代化と人々の生き方』 ・西洋文化を摂取し、新しい文化や思想を形成した思想家たちを通して、現代を生きる日本人の思想形成にどのような影響を与えているかを理解させる。 ・日本人の人間観、自然観、宗教観の特質を、民俗学の知見を手掛かりに、日本人としての自己意識と結び付けて、理解させる。	西洋近代精神の摂取 啓蒙思想家の活動 国家と個人の衝突 問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	16	【知】西洋文化を摂取し新しい文化や思想を形成した思想家の基本的な知識を、原典資料を適切に読み取り、説明することができる。 【思】西洋の思想や文化を受容する際の課題意識を自己の課題と結び付けて考える視点を働かせることを通して、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。 【主】国際社会における日本人としての在り方生き方の自覚を深めることで、日本人として主体的に生きていくために必要な能力を身に付けようとしている。	提出物	●	●	●
		『芸術と倫理』 ・自分自身の内面に美を求める心があること、それが人生を豊かにするものであることを理解させる。 ・絵画や造形芸術、伝統文化などの作品や原典資料を手掛かりに、美の概念を自らの生き方と関わらせ、芸術とは何か、芸術が人生や社会に与える影響がどのようなものか、などについて思索を深める。	芸術と倫理「課題発見」「課題解決」「表現」	2	【知】作品の特徴や作品の社会背景などから、芸術家が作品に込めた問いや思想などを読み解くことができる。 【思】芸術作品を通して、人間としての在り方生き方について思索を深め、適切に表現できる。 【主】美を求める心が人生を豊かにするものであることを理解し、美の概念を自らの生き方と関わらせて主体的に追究しようとしている。	提出物	●	●	●

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		公民	科目名		政治・経済	対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書		「政治・経済」（東京書籍）				教科 担当	福本　あゆみ			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「最新政治・経済資料集」（第一学習社）　「ウィニングコンパス」（とうほう）										
教科の目標		【知識及び技能】社会的な課題を追究・解決するための知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】身の回りで起こる社会問題を、社会的な見方・考え方をを用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】現代社会で生じる社会問題に関心を持ち、追究・解決しようとする態度を養う。										
科目の目標		【知識及び技能】社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を活用して現実社会に見られる課題を把握し説明する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。										
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法			
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週）	日本国憲法と民主主義 【知】大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解している。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【学】現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治 問題演習 「課題発見」　「課題解決」　「表現」		7	【知】大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解している。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【主】現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		定期考査 小テスト	●	●	●
		国際社会と人類の課題 【知】・貿易の現状と意義，為替レートの変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【学】現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		貿易と国際分業 外国為替の仕組みと国際収支 グローバル化する経済 地域的紛争と難民問題 問題演習 「課題発見」　「課題解決」　「表現」		6	【知】・貿易の現状と意義，為替レートの変動，国民経済と国際収支，国際協調の必要性や国際経済機関の役割について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【主】現代の国際経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		定期考査 小テスト	●	●	●
		経済社会の変容と経済の仕組み 【知】経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民所得と経済成長，物価と景気変動，財政のしくみと役割および租税などの意義，金融のしくみと機能について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【学】現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		資金の循環と金融機関の働き 物価の動き 日本経済のあゆみ 中小企業問題 農業問題 消費者問題 問題演習 「課題発見」　「課題解決」　「表現」		12	【知】経済活動と市場，経済主体と経済循環，国民所得と経済成長，物価と景気変動，財政のしくみと役割および租税などの意義，金融のしくみと機能について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【主】現代の日本経済について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		定期考査 小テスト	●	●	●
		1 学期期末考査				1						
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週）	国際社会の政治や経済の諸課題 【知】国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【学】現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		核廃絶と軍縮 経済摩擦と外交 南北問題と国際協力 問題演習 「課題発見」　「課題解決」　「表現」		12	【知】国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【主】現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		定期考査 小テスト	●	●	●
		現代の国政政治と日本 【知】国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【学】現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		国際連合の役割と国際協力 安全保障と日本の防衛 国際政治の特質と国際紛争 難民問題 問題演習 「課題発見」　「課題解決」　「表現」		13	【知】国際社会の変遷，国際法の意義，国際連合をはじめとする国際機構の役割，軍縮と紛争防止，日本の国際貢献について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【主】現代の国際政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		定期考査 小テスト	●	●	●
		2 学期期末考査				1						

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	現代日本の政治や経済の諸課題 【知】国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【学】国際社会における政治・経済の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	国際協調と国際経済機関の役割 環境保全と資源 エネルギー問題 「課題発見」「課題解決」「表現」	18	【知】国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【思】考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。 【主】国際社会における政治・経済の諸課題について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	小テスト	●	●	●

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		数学	科目名	数学Ⅲ	対象 学年	3 年	単位数	3単位	観点別評価				
使用教科書 「数学Ⅲ」（数研出版）					教科 担当	B組：浮葉 翔、神山 裕、 富田 進、翔、神山 裕、 C組：浮葉 富田 進			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材 「サクシード数学Ⅲ＋C」（数研出版） 「新課程 クリアー数学演習Ⅲ・C〔複素数平面、式と曲線〕 受験編」（数研出版） 「NEW ACTION LEGEND数学Ⅲ＋C」（東京書籍）													
教科の目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。													
科目の目標 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。													
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準					評価方法	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 2 ・ 3 週）	第3章 微分法		微分係数と導関数 導関数の計算		5	【知】 微分可能性と連続性との関係を理解し、微分法の基本公式や合成関数、逆関数の微分の仕方について理解している。 【思】 合成関数、逆関数の微分法を考察することができる。 【主】 微分法の基本公式や、合成関数、逆関数などの関数の微分法の公式が導かれる過程に関心をもつ。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	●
									定期考査	●	●	●	
				いろいろな関数の導関数 第n次導関数 関数のいろいろな表し方と導関数		6	【知】 三角関数、対数関数、指数関数の導関数を導く過程を理解している。いろいろな関数の導関数や、除関数についてdy/dx、高次導関数を求めることができる。 【思】 導関数の定義から、三角関数、対数関数、指数関数の導関数を考察することができる。 【主】 いろいろな関数の導関数や高次導関数を考えることに関心をもつ。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	●
									定期考査	●	●	●	
		第4章 微分法の応用		接線と法線 平均値の定理		6	【知】 いろいろな曲線の接線・法線の方程式の求め方を理解している。 【思】 接線・法線の方程式を考察することができる。平均値の定理を用いて不等式の証明を考察することができる。 【主】 接線・法線の方程式の求め方に関心をもつ。平均値の定理に関心をもち、活用しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	●
									定期考査	●	●	●	
				1 学期中間考査		1							
				関数の値の変化 関数の最大最小 関数のグラフ 方程式、不等式への応用		6	【知】 関数の値の増減を調べたり、極値を求めたりできる。第2次導関数とグラフの凹凸の関係を理解している。関数の最大最小を求め、方程式や不等式に応用できる。 【思】 関数の値の増減や極値を考察したり、第2次導関数を利用して、グラフの概形を考察することができる。第2次導関数を利用して、関数の極値を考察することができる。 【主】 微分をいろいろな事象の考察に活用することに関心をもつ。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	●
									定期考査	●	●	●	
				速度と加速度 近似値		2	【知】 直線上や平面上の点の速度、加速度を求めることができる。微分係数と近似との関係を理解している。 【思】 直線上や平面上の点の動きを調べることができる。関数の1次の近似式を考察することができる。 【主】 直線上や平面上での点の動きについて調べようとする。接線と関連付けて、関数の1次の近似式を考察しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	●
									定期考査	●	●	●	
		第5章 積分法		不定積分とその基本性質 置換積分法 部分積分法 いろいろな関数の不定積分		6	【知】 分数関数や三角関数、指数関数などについて、その不定積分を求めることができる。合成関数の微分法と置換積分法、積の微分法と部分積分法の関係を理解している。 【思】 合成関数の微分法や積の微分法を利用して、置換積分法や部分積分法について考察することができる。 【主】 不定積分の意味を理解し、いろいろな関数の不定積分を考えようとする。		小テスト	●	●	●	
							課題・レポート		●	●	●		
							定期考査	●	●	●			
		定積分とその基本性質 定積分の置換積分法 定積分の部分積分法 定積分の種々の問題		6	【知】 置換積分法や部分積分法を用いた定積分の求め方を理解している。区分求積法の意味を理解している。 【思】 いろいろな関数について、その定積分を考察することができる。区分求積法の考え方から、図形の面積と定積分の関係を考察することができる。 【主】 いろいろな関数について、その定積分を考えようとする。		小テスト	●	●	●			
							課題・レポート		●	●	●		
							定期考査	●	●	●			
		1 学期期末考査		1									

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主な学習内容と授業時数	2学期（13週）	第6章 積分法の応用 【知】図形の面積、回転体の体積、曲線の長さを求めることができる。 【思】定積分を用いて面積、回転体の体積、曲線の長さについて考察する。 【学】回転体の体積や曲線の長さが積分を用いて求められることに関心をもつ。	面積 体積 曲線の長さ 速度と道のり 「課題解決」「課題発見」「表現」	13	【知】定積分と面積、体積、曲線の長さの関係や定積分を用いた図形の面積、立体の体積、曲線の長さの求め方を理解している。 【思】図形の面積、回転体の体積、曲線の長さについて考察することができる。 【主】定積分を用いて、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積を求めようとする。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		数学ⅠⅡⅢABCの総合演習 【知】数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解し、活用することができる。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察する。 【学】いろいろな単元の定義や定理とその活用について関心をもち取り組む態度を養う。	入試問題を用いた実践問題演習 「課題解決」「課題発見」「表現」	8	【知】数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解している。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察することができる。 【主】いろいろな単元の定義や定理とその活用について考えようとする。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		2学期中間考査		1					
		数学ⅠⅡⅢABCの総合演習 【知】数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解し、活用することができる。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察する。 【学】いろいろな単元の定義や定理とその活用について関心をもち取り組む態度を養う。	入試問題を用いた実践問題演習 「課題解決」「課題発見」「表現」	16	【知】数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解している。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察することができる。 【主】いろいろな単元の定義や定理とその活用について考えようとする。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		2学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
学年別学習内容	3学期（9週）	数学ⅠⅡⅢABCの総合演習 【知】数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解し、活用することができる。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察する。 【学】いろいろな単元の定義や定理とその活用について関心をもち取り組む態度を養う。	入試問題を用いた実践問題演習 「課題解決」「課題発見」「表現」	27	【知】数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解している。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察することができる。 【主】いろいろな単元の定義や定理とその活用について考えようとする。				

教科		数学	科目名		数学C	対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価					
使用教科書		「数学C」 （数研出版）				教科 担当	B組：浮葉 翔 C組：浮葉 翔			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
補助教材		「サクシード数学C」 （数研出版）、「NEW ACTION LEGEND数学C」 （東京出版）													
教科の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。													
科目の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数値化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。													
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 【知】放物線と楕円、双曲線の方程式の表現方法を理解する。 【思】放物線と楕円、双曲線の標準形を理解し、平行移動や2次曲線と直線の共有点の座標や個数について考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		放物線 「課題発見」		2	【知】放物線の方程式から焦点、準線、軸、頂点を読み取れることができる。 【思】幾何学的な条件を方程式で表現し、その方程式を処理することで放物線の性質を考察することができる。 【主】放物線に興味・関心を示し、その方程式を求めようとしている。		小テスト				●	●	●
									課題・レポート					●	●
									定期考査				●	●	●
				楕円 「表現」		3	【知】楕円の方程式から焦点、軸、頂点を読み取れることができる。 【思】幾何学的な条件を方程式で表現し、その方程式を処理することで楕円の性質を考察することができる。 【主】楕円に興味・関心を示し、その方程式を求めようとしている。		小テスト				●	●	●
									課題・レポート					●	●
									定期考査	●	●	●			
				双曲線 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		2	【知】双曲線の方程式から焦点、軸、頂点を読み取れることができる。 【思】幾何学的な条件を方程式で表現し、その方程式を処理することで双曲線の性質を考察することができる。 【主】双曲線に興味・関心を示し、その方程式を求めようとしている。		小テスト	●	●	●			
									課題・レポート		●	●			
									定期考査	●	●	●			
				2次曲線の平行移動 「課題発見」 「課題解決」		2	【知】2次曲線の平行移動を理解して、平行移動した後の方程式から焦点、準線、漸近線、軸などを求めることができる。 【思】曲線の平行移動を方程式を考察することができる。 【主】2次曲線と平行移動の関係について興味・関心を示し、調べようとしている。		小テスト	●	●	●			
									課題・レポート		●	●			
									定期考査	●	●	●			
				2次曲線と直線 「課題解決」		2	【知】2次曲線と直線の位置関係について理解し、求めることができる。 【思】2次曲線と直線の共有点の座標や個数について考察することができる。 【主】双曲線と直線の位置関係についてどのような場合があるか図示して調べようとしている。		小テスト	●	●	●			
									課題・レポート		●	●			
									定期考査	●	●	●			
				2次曲線の性質 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		1	【知】離心率について理解し、求めることができる。 【思】準線の考え方から2次曲線について考察することができる。 【主】2次曲線の性質について興味・関心を示し、調べようとしている。		小テスト	●	●	●			
									課題・レポート		●	●			
									定期考査	●	●	●			
		1 学期中間考査						1							
		第3章 複素数平面 第1節 複素数平面 【知】複素数平面と極形式、ド・モアブルの定理の性質や特徴を理解する。 【思】複素数平面と極形式の特徴を、平行移動や極形式の計算などを用いて考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		複素数平面 「課題発見」		2	【知】複素数の和・差・実数倍を求めることができる。 【思】複素数の和・差は点の平行移動や平行四辺形の頂点として表されることを考察することができる。 【主】複素数平面に関心をもち、複素数の図表示について理解しようとしている。		小テスト	●	●	●			
									課題・レポート		●	●			
									定期考査	●	●	●			
				複素数の極形式 「表現」		3	【知】複素数を極形式で表すことができ、極形式による積や商を求めることができる。 【思】極形式による複素数の乗法や除法の仕組みを考察することができる。 【主】複素数平面に関心をもち、複素数の極形式について理解しようとしている。		小テスト	●	●	●			
									課題・レポート		●	●			
定期考査	●								●	●					
ド・モアブルの定理 「課題解決」 「表現」				3	【知】ド・モアブルの定理の使い方と n 乗を求めることができる。 【思】n 乗根の複素数平面上での配置について考察することができる。 【主】複素数の n 乗根の複素数平面上での配置について調べようとしている。		小テスト	●	●	●					
							課題・レポート		●	●					
							定期考査	●	●	●					
複素数と図形 「課題発見」 「課題解決」 「表現」				4	【知】複素数平面上の線分の分点を表す式や円の方程式、垂直二等分線の方程式を求めることができる。 【思】複素数平面上の図形について、複素数の計算で調べたり、方程式の表す図形を考察することができる。 【主】複素数平面上の線分の分点を表す式や円の方程式、垂直二等分線の方程式について理解しようとしている。		小テスト	●	●	●					
							課題・レポート		●	●					
							定期考査	●	●	●					
1 学期期末考査						1									

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期	第4章 式と曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 【知】ある条件を満たす点の軌跡を媒介変数表示することができ、極座標の意味や極座標と直交座標の関係について理解する。 【思】事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	媒介変数表示 「課題発見」「表現」	4	【知】ある条件を満たす点の軌跡を媒介変数表示することができる。 【思】条件を満たす点の軌跡を媒介変数で表し、その特徴を考察することができる。 【主】媒介変数表示に興味をもち、問題解決に利用しようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
			極座標と極方程式 「課題解決」「表現」	6	【知】極座標の意味や極座標と直交座標の関係を相互に求めることができる。 【思】図形を極座標の考え方や見方を用いて表現し、その特徴を考察することができる。 【主】極座標と極方程式に興味をもち、問題解決に利用しようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
			コンピューターといろいろな曲線 「表現」	2	【知】コンピュータソフトを用いて、媒介変数表示された曲線を描いて理解し、求めることができる。 【思】コンピュータソフトを用いて、極座標で示された点を描いて考察することができる。 【主】コンピューターといろいろな曲線に興味をもち、問題解決に利用しようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		2学期中間考査		1					
		数学ⅠⅡABCの総合演習 【知】数学ⅠⅡABC各単元の基本事項を理解し、活用することができる。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察する。 【学】いろいろな単元の定義や定理とその活用について関心をもち取り組む態度を養う。	入試問題を用いた実践問題演習 「課題解決」「課題発見」「表現」	12	【知】数学ⅠⅡABC各単元の基本事項を理解している。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察することができる。 【主】いろいろな単元の定義や定理とその活用について考えようとする。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		2学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期	数学ⅠⅡABCの総合演習 【知】数学ⅠⅡABC各単元の基本事項を理解し、活用することができる。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察する。 【学】いろいろな単元の定義や定理とその活用について関心をもち取り組む態度を養う。	入試問題を用いた実践問題演習 「課題解決」「課題発見」「表現」	18	【知】数学ⅠⅡABC各単元の基本事項を理解している。 【思】単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察することができる。 【主】いろいろな単元の定義や定理とその活用について考えようとする。				

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		数学	科目名	数学Ⅲ演習		対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書	「数学Ⅲ」（数研出版）						教科 担当	B組：浮葉 翔、神山 裕、 富田 進 C組：浮葉 翔、神山 裕、 富田 進		知識・技能	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現
補助教材	「サクシード数学Ⅲ＋C」（数研出版） 「NEW ACTION LEGEND 数学Ⅲ＋C」（東京書籍） 「クリアー数学演習Ⅲ・C〔複素数平面、式と曲線〕 受験編」（数研出版）											
教科の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。											
科目の目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。											
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法			
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 2 ・ 3 週）	第1章 関数 【知】演習を通して分数関数や無理関数、逆関数や合成関数の定義や性質、関数値の極限の様子について理解している。 【思】演習を通して新たな関数の概念について考察することができる。 【学】演習を通して分数関数や無理関数などの新しい関数や、逆関数、合成関数などの関数の新たな概念について関心をもつ。	分数関数 無理関数 逆関数と無理関数 「課題解決」	4	【知】分数関数や無理関数、逆関数、合成関数の定義や性質を理解している。分数関数や無理関数のグラフや式を利用して、方程式、不等式を解くことができる。 【思】分数関数や無理関数の式とグラフを関連づけて考察することができる。 【主】分数関数や無理関数の性質を調べようとする。逆関数、合成関数などの関数の概念について理解を深めようとする。	小テスト	●	●	●			
					課題・レポート	●	●	●				
					定期考査	●	●	●				
					第2章 極限 【知】演習を通して無限数列や無限級数の収束、発散の関係を理解し、調べることができる。いろいろな関数値の極限を調べることができる。 【思】演習を通して無限数列や無限級数と収束、発散の関連を考察することができる。関数値の極限について考察することができる。 【学】演習を通して無限数列や無限級数の極限に関心をもち、事象の考察にも活用しようとする。関数値の極限を事象の考察に活用しようとする。	数列の極限 無限等比数列 無限級数 「課題発見」「表現」	4	【知】無限数列や無限級数と、その収束や発散の関連について理解している。無限等比級数の収束、発散を判定することができる。 【思】無限数列や無限等比級数の収束、発散について考察することができる。 【主】無限数列や無限等比級数の極限を調べたり、漸化式で表された数列の極限を調べるのに活用しようとする。	小テスト	●	●	●
								課題・レポート	●	●	●	
								定期考査	●	●	●	
			関数の極限 三角関数と極限 関数の連続性 「課題発見」「課題解決」	4	【知】いろいろな関数値の極限の様子や、連続関数の性質について理解している。いろいろな関数について、極限の様子を調べたり、連続性を調べたりすることができる。 【思】関数の連続について、関数値の極限を用いて考察することができる。 【主】いろいろな関数値の極限を調べたり、それを関数の連続性の概念の理解に活用しようとする。	小テスト	●	●	●			
					課題・レポート	●	●	●				
					定期考査	●	●	●				
		1 学期中間考査				1						
		第3章 微分法 【知】演習を通して微分可能性の概念を理解し、微分可能性と連続性の関係を把握する。三角関数、指数関数、対数関数の導関数を導く過程を理解する。 【思】演習を通して合成関数、逆関数の微分法を示して、微分の計算の習得を目指す。いろいろな導関数を求められるようにする。 【学】演習を通して定義に従って和・差・積・商の導関数の公式の証明や合成関数、逆関数の微分法の証明に関心をもつ。いろいろな関数の導関数や高次導関数を考えることに主体的に取り組む。	微分係数と導関数 導関数の計算 「課題解決」「課題発見」「表現」	2	【知】微分可能性と連続性との関係を理解し、微分法の基本公式や合成関数、逆関数の微分の仕方について理解している。 【思】合成関数、逆関数の微分法を考察することができる。 【主】微分法の基本公式や、合成関数、逆関数などの関数の微分法の公式が導かれる過程に関心をもつ。	小テスト	●	●	●			
					課題・レポート	●	●	●				
					定期考査	●	●	●				
	いろいろな関数の導関数 第n次導関数 関数のいろいろな表し方と導関数 「課題解決」「課題発見」				4	【知】三角関数、対数関数、指数関数の導関数を導く過程を理解している。いろいろな関数の導関数や、陰関数についてdy/dx、高次導関数を求めることができる。 【思】導関数の定義から、三角関数、対数関数、指数関数の導関数を考察することができる。 【主】いろいろな関数の導関数や高次導関数を考えることに関心をもつ。	小テスト	●	●	●		
						課題・レポート	●	●	●			
						定期考査	●	●	●			
第4章 微分法的应用 【知】演習を通していろいろな曲線の接線・法線の方程式を求められる。導関数の符号と関数の値の増減の関係を理解している。第2次導関数や漸近線を利用して、グラフの概形をかくことができる。関数の1次の近似式を求めることができる。 【思】演習を通して接線・法線の方程式を微分を用いて考察する。平均値の定理を用いて不等式の成立を考察する。関数の増減や極値、グラフの概形を考察する。微分を用いて、直線上や平面上の点の動きを調べ、関数の1次の近似式を考察する。 【学】演習を通して接線・法線の方程式および平均値の定理に関心をもち、活用しようとする。関数の増減やグラフの凹凸からいろいろな事象の考察に関心をもつ。関数の1次の近似式を考察する。	接線と法線 平均値の定理 関数の値の変化 関数の最大最小 関数のグラフ 方程式、不等式への応用 「課題解決」「課題発見」「表現」	5	【知】いろいろな曲線の接線・法線の方程式の求め方を理解している。関数の値の増減を調べたり、極値を求めたりできる。第2次導関数とグラフの凹凸の関係を理解している。関数の最大最小を求め、方程式や不等式に応用できる。 【思】接線・法線の方程式を考察することができる。平均値の定理を用いて不等式の証明を考察することができる。関数の値の増減や極値を考察したり、高次導関数を利用して、グラフの概形を考察することができる。第2次導関数を利用して、関数の極値を考察することができる。 【主】接線・法線の方程式の求め方に関心をもつ。平均値の定理に関心をもち、活用しようとする。微分をいろいろな事象の考察に活用することに関心をもつ。	小テスト	●	●	●					
			課題・レポート	●	●	●						
			定期考査	●	●	●						
				速度と加速度 近似値 「課題発見」	1	【知】直線上や平面上の点の速度、加速度を求めることができる。微分係数と近似との関係を理解している。 【思】直線上や平面上の点の動きを調べることができる。関数の1次の近似式を考察することができる。 【主】直線上や平面上での点の動きについて調べようとする。接線と関連付けて、関数の1次の近似式を考察しようとする。	小テスト	●	●	●		
						課題・レポート	●	●	●			
						定期考査	●	●	●			
1 学期期末考査				1								

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 ・ 3 週 ）	第5章 積分法 【知】 演習を通して置換積分法や部分積分法を利用して、いろいろな関数の不定積分を求める。不定積分や、置換積分法、部分積分法を利用して、いろいろな関数の定積分を求める。区分求積法を用いて、いろいろな級数や関数の値について調べる。 【思】 演習を通して置換積分法や部分積分法について考察する。いろいろな関数について、その定積分を工夫して考察する。 【学】 演習を通して不定積分を求める際に、置換積分法、部分積分法を活用する。いろいろな関数について、その定積分を工夫して求めようとする。	不定積分とその基本性質 置換積分法 部分積分法 いろいろな関数の不定積分 「課題解決」	4	【知】 分数関数や三角関数、指数関数などについて、その不定積分を求めることができる。合成関数の微分法と置換積分法、積の微分法と部分積分法の関係を理解している。 【思】 合成関数の微分法や積の微分法を利用し、置換積分法や部分積分法について考察することができる。 【主】 不定積分の意味を理解し、いろいろな関数の不定積分を考えようとする。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
						小テスト	●	●	●
						課題・レポート			
						定期考査	●	●	●
						小テスト	●	●	●
						課題・レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
		第6章 積分法の応用 【知】 演習を通して図形の面積、回転体の体積、曲線の長さを求めることができる。 【思】 演習を通して定積分を用いて面積、回転体の体積、曲線の長さについて考察する。 【学】 演習を通して回転体の体積や曲線の長さが積分を用いて求められることに関心をもち、興味をもつ。	面積 体積 曲線の長さ 速度と道のり 「課題解決」「課題発見」「表現」	4	【知】 定積分と面積、体積、曲線の長さの関係や定積分を用いた図形の面積、立体の体積、曲線の長さの求め方を理解している。 【思】 図形の面積、回転体の体積、曲線の長さについて考察することができる。 【主】 定積分を用いて、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積を求めようとする。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
			2学期中間考査	1					
		数学ⅠⅡⅢABCの総合演習 【知】 数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解し、活用することができる。 【思】 単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察する。 【学】 いろいろな単元の定義や定理とその活用について関心をもち取り組む態度を養う。	入試問題を用いた実践問題演習 「課題解決」「課題発見」「表現」	12	【知】 数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解している。 【思】 単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察することができる。 【主】 いろいろな単元の定義や定理とその活用について考えようとする。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート	●	●	●
						定期考査	●	●	●
			2学期期末考査	1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
	3 学 期 （ 9 週 ）	数学ⅠⅡⅢABCの総合演習 【知】 数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解し、活用することができる。 【思】 単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察する。 【学】 いろいろな単元の定義や定理とその活用について関心をもち取り組む態度を養う。	入試問題を用いた実践問題演習 「課題解決」「課題発見」「表現」	18	【知】 数学ⅠⅡⅢABC各単元の基本事項を理解している。 【思】 単元が融合している課題について、その本質を理解し、考察することができる。 【主】 いろいろな単元の定義や定理とその活用について考えようとする。				

教科		数学	科目名		文系数学Ⅰ A演習	対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書						教科 担当	A組：近内 崇志 C組：近内 崇志			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材													
教科の目標						【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。							
科目の目標									【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現で事象を明瞭に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し活用したり、粘り強く考え、過程を振り返って考えを深めたり評価・改善しようとする態度を養う。				
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準						評価方法
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	数学Ⅰの全般的な演習 【知】数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念を体系的に理解する力を養う。 【思】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度。		式の計算、1次不等式、集合、命題と論証、2次関数、2次関数の最大・最小、2次方程式と2次不等式、三角比の基本、三角比と図形、データの代表値と散らばり、データの相関、仮説検定の考え方 「課題解決」「課題発見」「表現」		8	【知】多項式の加法・減法・乗法について理解している。展開・因数分解の公式を利用できる。平方根の意味や性質を理解している。集合とその表し方を理解している。命題の真偽、凡例の意味を理解し、命題の真偽を決定することができる。 【思】根号を含む式の計算について、一般化して考察することができる。条件を満たすものを集合の要素として捉えることができる。 【主】式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとする。 集合について、それぞれの特徴や関係にあった表現方法を考察しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	
									定期考査	●	●	●	
		数学Aの全般的な演習 【知】図形の性質についての基本的な概念を理解する力を養う。 【思】図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力を養う。 【学】数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度。		場合の数・順列、組合せ、確率、平面図形、空間図形 「課題解決」「課題発見」「表現」		4	【知】チェバの定理、メネラウスの定理、方べきの定理を理解している。 【思】円に内接する四角形の性質について、論理的に考察することができる。 【主】線分を分ける点や、三角形の角の二等分線と比について調べようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	
									定期考査	●	●	●	
		1学期中間考査						1					
		数学Ⅰの全般的な演習 【知】事象を数学化したり、数学的に解釈したりする力を養う。 【思】図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察する力を養う。 【学】粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度。		式の計算、1次不等式、集合、命題と論証、2次関数、2次関数の最大・最小、2次方程式と2次不等式、三角比の基本、三角比と図形、データの代表値と散らばり、データの相関、仮説検定の考え方 「課題解決」「課題発見」「表現」		8	【知】2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、判別式の符号から考察することができる。三角形の辺と角の間に成り立つ関係式として、正弦定理や余弦定理を導くことができる。 【思】一般の2次関数について、頂点、軸の式を考察しようとする。正弦定理や余弦定理が図形の計量に活用できることに着目し、これらを用いて三角形について解こうとする。 【主】日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	
									定期考査	●	●	●	
		数学Aの全般的な演習 【知】場合の数と確率についての基本的な概念や法則を体系的に理解する力を養う。 【思】不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【学】粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度。		場合の数・順列、組合せ、確率、平面図形、空間図形 「課題解決」「課題発見」「表現」		4	【知】順列、円順列、重複順列、組合せ、同じものを含む順列の総数を求めることができる。 【思】試行の結果を事象として捉え、事象を集合と結び付けて考察することができる。 【主】条件付き確率や確率の乗法定理の考え方に興味・関心をもち、積極的に活用しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	
									定期考査	●	●	●	
		1学期期末考査						1					
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法	【知】	【思】	【主】	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	数学Ⅰの全般的な演習 【知】数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。 【学】問題解決の過程を振り返って、考察を深めようとする態度。		式の計算、1次不等式、集合、命題と論証、2次関数、2次関数の最大・最小、2次方程式と2次不等式、三角比の基本、三角比と図形、データの代表値と散らばり、データの相関、仮説検定の考え方 「課題解決」「課題発見」「表現」		8	【知】与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。2次方程式において、判別式の符号と実数解の個数の関係を理解している。 【思】2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させて考察することができる。 【主】2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	
									定期考査	●	●	●	
		数学Aの全般的な演習 【知】数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化する力を養う。 【思】数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだす力を養う。 【学】問題解決の過程を振り返って、考察を深めようとする態度。		場合の数・順列、組合せ、確率、平面図形、空間図形 「課題解決」「課題発見」「表現」		4	【知】互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。 【思】整数に関する問題を、1次不定方程式に帰着させて考察することができる。 【主】日常生活における具体的な事象の考察に、約数と倍数の考えを活用しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	
									定期考査	●	●	●	
		2学期中間考査						1					
		数学Ⅰの全般的な演習 【知】基本的な概念な、原理・法則を体系的に理解する。 【思】社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学】評価・改善したりしようとする態度や、創造性の基礎を養う。		式の計算、1次不等式、集合、命題と論証、2次関数、2次関数の最大・最小、2次方程式と2次不等式、三角比の基本、三角比と図形、データの代表値と散らばり、データの相関、仮説検定の考え方 「課題解決」「課題発見」「表現」		8	【知】相関関係の定義とその意味を理解し、定義に従って求めることができる。 【思】データの相関について、散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確に捉えて説明することができる。 【主】相関関係の大きさを数値化する方法を考察しようとする。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	
									定期考査	●	●	●	
		数学Aの全般的な演習 【知】数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。 【学】評価・改善したりしようとする態度や、創造性の基礎を養う。		場合の数・順列、組合せ、確率、平面図形、空間図形 「課題解決」「課題発見」「表現」		4	【知】様々な確率を、公式や定理などを用いて求めることができる。 【思】既習事項を用いて、図形の性質を論理的に考察することができる。 【主】割り算の方法や割り算の余りの性質に興味・関心を持つ。		小テスト	●	●	●	
									課題・レポート		●	●	
									定期考査	●	●	●	
		2学期期末考査						1					

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 (9 週)	数学ⅠAの全般的な演習 【知】数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。 【思】事象を数学的に考察する力を養う。 【学】数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	数学ⅠA全般 「課題解決」「課題発見」「表現」	18	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。				
					【思】自ら変数を設定して処理をしたり、数式やグラフを用いて説明したりすることができる。				
					【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。				

教科		数学	科目名		文系数学演習（記述対策）	対象 学年	3 年	単位数	4単位	観点別評価						
使用教科書						教科 担当	A組：鳥谷部 光 C組：鳥谷部 光			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
補助教材													「新課程 シニア 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編」（数研出版）			
教科の目標						数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。										
科目の目標						数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。										
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法							
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	数学B及び数学Cの全般的な演習 【知】数列、統計的な推測、ベクトルの性質や特徴を理解する。 【思】数列、統計的な推測、ベクトルの性質や特徴について、身に付けた知識及び技能を活用して、考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学B及び数学Cの分野において、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		ベクトル ベクトルと平面図形 ベクトルと空間図形		3	【知】内積の性質を用いて、ベクトルの大きさやなす角を求めることができる。 【思】直線上の点を位置ベクトルで考察し、直線のベクトル方程式と関連付けることができる。 【主】空間のベクトルと平面上のベクトルを比較して考察しようとしている。		小テスト		●	●	●			
									課題・レポート			●	●			
									定期考査		●	●	●			
				等差数列・等比数列 種々の数列 漸化式と数列 数学的帰納法 「表現」		4	【知】数学的帰納法を用いて、等式、整数の性質、不等式を証明することができる。 【思】置き換えをすることで、既知の漸化式に帰着させて考察することができる。 【主】確率や図形の問題の解決に、漸化式の考えを利用できることに着目し、活用しようとしている。		小テスト		●	●	●			
									課題・レポート			●	●			
									定期考査		●	●	●			
				確率分布 統計的な推測 「課題解決」 【富士未来学と関連】 データ分析講座Ⅲと関連付けて指導する。		2	【知】二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 【思】確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係を捉えることができる。 【主】母平均や母比率の推定に積極的に取り組もうとしている。		小テスト		●	●	●			
									課題・レポート			●	●			
									定期考査		●	●	●			
		数学Ⅱの全般的な演習 【知】式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法の性質や特徴を理解する。 【思】式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法の性質や特徴について、身に付けた知識及び技能を活用して、考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学Ⅱの分野において、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		二項定理、多項式の除法、分数式の計算 恒等式、等式の証明 不等式の証明 「表現」		3	【知】多項式の除法や分数式の計算をすることができる。 【思】相加平均と相乗平均の大小関係を理解し、不等式の証明に活用できるかを適切に判断できる。 【主】二項定理を証明の場面で活用できるように、公式の意味を理解しようとしている。		小テスト		●	●	●			
									課題・レポート			●	●			
									定期考査		●	●	●			
				複素数とその計算、2次方程式の理論 剰余の定理・因数定理 種々の方程式の解法		3	【知】剰余の定理や因数定理を適切に活用することができる。 【思】複素数の性質と恒等式の性質を組み合わせで考察することができる。 【主】方程式の解の性質や多項式の除法を活用して、最適な方法で式の値を求めようとしている。		小テスト		●	●	●			
									課題・レポート			●	●			
									定期考査		●	●	●			
				1 学期中間考査						1						
				点・直線・円 曲線と直線 軌跡 領域、図形と式の種々の問題		4	【知】直線や放物線、円をグラフで表現することができる。 【思】文字定数を方程式に含んだ直線や円を、文字定数の値によって変化する動的な図形として考察することができる。 【主】条件を基に立式した軌跡の方程式を満たす全ての点が、元の条件を満たすかどうかを確認しようとしている。		小テスト		●	●	●			
									課題・レポート			●	●			
		定期考査							●	●	●					
		三角関数（1） 三角関数（2） 指数関数・対数関数（1） 指数関数・対数関数（2）				4	【知】加法定理から倍角の公式や半角の公式を導く方法を理解している。 【思】対数方程式や対数不等式を解く際に、真数の条件や底の条件を踏まえて考察することができる。 【主】置き換えをしたときに、置き換えた文字の変域に注意しながら考えようとしている。		小テスト		●	●	●			
									課題・レポート			●	●			
									定期考査		●	●	●			
		導関数と接線 関数の増減・極値 最大・最小（微分法） 方程式・不等式への応用 積分の計算 定積分で表された関数 面積				7	【知】接線の方程式を求めたり、面積を求めたりすることができる。 【思】方程式の解とグラフの共有点の座標の関係性を理解して、解の個数からグラフの共有点の個数を判断することができる。 【主】適切な置き換えをすることで、既知の方程式や関数に帰着させて考えようとしている。		小テスト		●	●	●			
									課題・レポート			●	●			
									定期考査		●	●	●			

		数学Ⅰの全般的な演習	【知】数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析の性質や特徴を理解する。 【思】数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析の性質や特徴について、身に付けた知識及び技能を活用して、考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学Ⅰの分野において、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	式の計算 式の値 1次不等式 集合と命題	3	【知】対称式の値を求める際に、基本対称式で表す方法を理解している。 【思】文字を含んだ1次不等式の解を求める際に、数直線を用いて考察することができる。 【主】必要条件であるか十分条件であるかについて、図などを活用して条件を整理しながら判断しようとしている。	小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	●
		関数とグラフ 関数の最大・最小 2次方程式、2次不等式 2次関数のグラフとx軸の共有点		4	【知】2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思】2次方程式の解の個数や2次不等式の解を求める際に、2次関数のグラフを用いて考察することができる。 【主】2次関数に含まれる文字定数の値で場合分けをして、条件を整理しながら考えようとしている。	小テスト	●	●	●	
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	●
		三角比の基本 三角比と図形（1） 三角比と図形（2） データの分析 『課題解決』 【富士未来学と関連】 データ分析講座Ⅱと関連付けて指導する。		4	【知】正弦定理や余弦定理を活用して、辺の長さや角の大きさを求める方法を理解している。 【思】立体図形から適切な平面図形を取り出して考察することができる。 【主】データの変換を活用するなどの工夫をして、分散や標準偏差を求めようとしている。	小テスト	●	●	●	
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	●
		数学Aの全般的な演習	【知】場合の数と確率、図形、整数の性質や特徴を理解する。 【思】場合の数と確率、図形、整数の性質や特徴について、身に付けた知識及び技能を活用して、考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学Aの分野において、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	場合の数、順列 組合せ 確率（1） 確率（2）	4	【知】反復試行の確率や条件付き確率を求めることができる。 【思】順列や組合せの考え方の違いを理解して、活用する場面を適切に判断することができる。 【主】複雑な事象について、場合分けをしたり、書き出したりして、試行錯誤しようとしている。	小テスト	●	●	●
					課題・レポート		●	●		
					定期考査	●	●	●		
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 ・ 2 ・ 3 週）	数学ⅠⅡABCの総合演習	【知】数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形、整数、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法、数列、統計的な推測、ベクトルの性質や特徴を理解する。 【思】数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形、整数、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法、数列、統計的な推測、ベクトルの性質や特徴について、身に付けた知識及び技能を活用して、考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B及び数学Cの分野において、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学Ⅱ及び数学B及び数学Cの総合演習	15	【知】基本的な知識及び技能を身に付けており、公式や定理の証明方法を理解している。 【思】身に付けた知識及び技能を基にして、より良い解法を判断し、表現することができる。 【主】問題を解く際に、試行錯誤しながら、既知の問題に帰着させて考えようとしている。間違えた原因を振り返り、自己調整しようとしている。	小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	●
			数学Ⅰ及び数学Aの総合演習	10	【知】基本的な知識及び技能を身に付けており、公式や定理の証明方法を理解している。 【思】身に付けた知識及び技能を基にして、より良い解法を判断し、表現することができる。 【主】問題を解く際に、試行錯誤しながら、既知の問題に帰着させて考えようとしている。間違えた原因を振り返り、自己調整しようとしている。	小テスト	●	●	●	
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	●
		2学期中間考査		1						
		数学ⅠⅡABCの総合演習	【知】数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形、整数、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法、数列、統計的な推測、ベクトルの性質や特徴を理解する。 【思】数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形、整数、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法、数列、統計的な推測、ベクトルの性質や特徴について、身に付けた知識及び技能を活用して、考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B及び数学Cの分野において、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学Ⅱ及び数学B及び数学Cの総合演習	15	【知】基本的な知識及び技能を身に付けており、公式や定理の証明方法を理解している。 【思】身に付けた知識及び技能を基にして、より良い解法を判断し、表現することができる。 【主】問題を解く際に、試行錯誤しながら、既知の問題に帰着させて考えようとしている。間違えた原因を振り返り、自己調整しようとしている。	小テスト	●	●	●
							課題・レポート		●	●
							定期考査	●	●	●
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週）	数学ⅠⅡABCの総合演習	【知】数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形、整数、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法、数列、統計的な推測、ベクトルの性質や特徴を理解する。 【思】数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、図形、整数、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数・対数関数、微分法・積分法、数列、統計的な推測、ベクトルの性質や特徴について、身に付けた知識及び技能を活用して、考察する思考力、判断力、表現力等を身に付ける。 【学】数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B及び数学Cの分野において、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学Ⅱ及び数学B及び数学Cの総合演習	21	【知】基本的な知識及び技能を身に付けており、公式や定理の証明方法を理解している。 【思】身に付けた知識及び技能を基にして、より良い解法を判断し、表現することができる。 【主】問題を解く際に、試行錯誤しながら、既知の問題に帰着させて考えようとしている。間違えた原因を振り返り、自己調整しようとしている。				
			数学Ⅰ及び数学Aの総合演習	15	【知】基本的な知識及び技能を身に付けており、公式や定理の証明方法を理解している。 【思】身に付けた知識及び技能を基にして、より良い解法を判断し、表現することができる。 【主】問題を解く際に、試行錯誤しながら、既知の問題に帰着させて考えようとしている。間違えた原因を振り返り、自己調整しようとしている。					

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		数学		科目名		文系数学演習（大学入学共通テスト対策）		対象 学年	3 年	単位数	4単位	観点別評価		
使用教科書								教科 担当	A組：篠原 鉄志 C組：篠原 鉄志			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「[大学入学共通テスト対策] ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C 受験編」（数研出版）												
教科の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。												
科目の目標		数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。												
	学期	単元と指導目標			指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学期（13 週）	数学Cの全般的な演習 【知】ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			平面上のベクトル 空間のベクトル 「課題解決」「課題発見」「表現」		6	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。		小テスト 課題・レポート 定期考査	●	●	●	
		数学Bの全般的な演習 【知】数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			数列 統計的な推測 「課題解決」「課題発見」「表現」		8	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。		小テスト 課題・レポート 定期考査	●	●	●	
		数学Ⅱの全般的な演習 【知】いろいろな式、図形と方程式の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思】数の範囲や式の性質に着目し、方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			式と証明 複素数と方程式 「課題解決」「課題発見」「表現」		8	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】数の範囲や式の性質に着目し、方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。		小テスト 課題・レポート 定期考査	●	●	●	
		1 学期中間考査					1							
		数学Ⅱの全般的な演習 【知】指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思】方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			図形と方程式 三角関数 指数関数と対数関数 微分法と積分法 「課題解決」「課題発見」「表現」		12	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。		小テスト 課題・レポート 定期考査	●	●	●	
		数学Ⅰの全般的な演習 【知】数と式、2次関数、図形と計量およびデータの分析について、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			数と式 2次関数 図形と計量 データの分析 「課題解決」「課題発見」「表現」		8	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。		小テスト 課題・レポート 定期考査	●	●	●	
		数学Aの全般的な演習 【知】図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係についても認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			場合の数と確率 図形の性質 「課題解決」「課題発見」「表現」		8	【知】限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察したり、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。		小テスト 課題・レポート 定期考査	●	●	●	
		1 学期期末考査					1							

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主な学習内容と授業時数	2学期（13週）	数学Cの全般的な演習 【知】ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	平面上のベクトル 空間のベクトル 「課題解決」「課題発見」「表現」	6	【知】マークシート形式において、限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		数学Bの全般的な演習 【知】数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数式化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数列 統計的な推測 「課題解決」「課題発見」「表現」	12	【知】マークシート形式において、限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数式化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		数学IIの全般的な演習 【知】いろいろな式、図形と方程式の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思】数の範囲や式の性質に着目し、方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 「課題解決」「課題発見」「表現」	8	【知】マークシート形式において、限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】数の範囲や式の性質に着目し、方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		2学期中間考査		1					
		数学IIの全般的な演習 【知】指数関数・対数関数、三角関数及び微分積分の考えについて、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思】方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	三角関数 指数関数と対数関数 微分法と積分法 「課題解決」「課題発見」「表現」	8	【知】マークシート形式において、限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】方程式を用いて図形を考察したり、事象を数学的に考察し、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		数学Iの全般的な演習 【知】数と式、2次関数、図形と計量およびデータの分析について、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付ける。 【思】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数と式 2次関数 図形と計量 データの分析 「課題解決」「課題発見」「表現」	8	【知】マークシート形式において、限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		数学Aの全般的な演習 【知】図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係についても認識を深め、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	場合の数と確率 図形の性質 「課題解決」「課題発見」「表現」	8	【知】マークシート形式において、限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察したり、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したりすることができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。	小テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						定期考査	●	●	●
		2学期期末考査		1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主な学習内容と授業時数	3学期（9週）	数学IⅡABC（ベクトル）の総合演習 【知】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 【思】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 【学】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学IⅡABC（ベクトル）における総合演習 「課題解決」「課題発見」「表現」	36	【知】マークシート形式において、限られた時間の中で解くことを想定しながら、適切な答えを素早く導き出すことができる。 【思】種々の性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。 【主】問題解決の構想から結論に至るプロセスを主体的に考えようとしている。				

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科	理科	科目名	化学	対象 学年	3 年	単位数	4単位	観点別評価		
使用教科書	「化学 academia」（実教出版）			教科 担当	B 組：渡部 啓太 C 組：渡部 啓太			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材	「スクエア最新図説化学」（第一学習社） 「リードα化学」（数研出版） 「化学重要問題集 化学基礎・化学」（数研出版） 「新課程版 ピーライン化学」（第一学習社）									
教科の目標	【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。									
科目の目標	【知識及び技能】日常生活や社会などの関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】物質とその変化に主体的に関わり、化学的に探究する態度を養う。									
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準		評価方法			
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 ・ 3 週）	物質の状態と平衡 【知】物質固有の性質がわかる。 【思】計算問題が解ける。 【学】大学入試と関連させ理解しようとする。	状態変化 固体の構造 気体の性質 「課題発見」「課題解決」「表現」	25	【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●
							考查	●	●	
		1 学期中間考查		1						
		物質の状態と平衡 【知】物質固有の性質がわかる。 【思】計算問題が解ける。 【学】大学入試と関連させ理解しようとする。	溶液 「課題発見」「課題解決」「表現」	5	【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●
							考查	●	●	
物質の変化と平衡 【知】物質固有の性質がわかる。 【思】計算問題が解ける。 【学】大学入試と関連させ理解しようとする。	化学反応と熱・光エネルギー 化学反応と電気エネルギー 「課題発見」「課題解決」「表現」	20	【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●		
					考查	●	●			
1 学期期末考查		1								
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準		評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 ・ 3 週）	物質の変化と平衡 【知】物質固有の性質がわかる。 【思】計算問題が解ける。 【学】大学入試と関連させ理解しようとする。	反応の速さとしくみ 化学平衡 「課題発見」「課題解決」「表現」	25	【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●
							考查	●	●	
		2 学期中間考查		1						
		物質の変化と平衡 【知】物質固有の性質がわかる。 【思】計算問題が解ける。 【学】大学入試と関連させ理解しようとする。	化学平衡 「課題発見」「課題解決」「表現」	15	【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●
							考查	●	●	
高分子化合物 【知】高分子化合物固有の性質がわかる。 【思】計算問題が解ける。 【学】大学入試と関連させ理解しようとする。	高分子化合物 天然高分子化合物 「課題発見」「課題解決」「表現」	10	【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●		
					考查	●	●			
2 学期期末考查		1								
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準		評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週）	高分子化合物 【知】高分子化合物固有の性質がわかる。 【思】計算問題が解ける。 【学】大学入試と関連させ理解しようとする。	合成高分子化合物 「課題発見」「課題解決」「表現」	36	【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●
							考查	●	●	

教科		理科	科目名	物理演習		対象 学年	3 年	単位数	3単位	観点別評価		
使用教科書						教科 担当	B 組　：鈴木　　晃 B C 組：小浦　　真史			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材												
教科の目標												
科目の目標												
		単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	電流と磁場 【知】電流がつくる磁界の様子を理解する。 【思】電流が磁界から受ける力について理解する。 【学】電流と磁場が関わる現象に主体的に関わり、探究する態度を養う。	電流がつくる磁場 電流が磁場から受ける力 ローレンツ力 「課題発見」「課題解決」「表現」		9	【知】電流が作る磁場を理解し、様々な場合において計算できる。 【思】アンペール力、ローレンツ力を理解し、様々な電気現象を考察できる。 【主】電流と磁場が関わる現象を身近な例において見出し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●	
								実験レポート	●	●	●	
								定期考査・小テスト		●	●	
		電磁誘導と交流 【知】電磁誘導に関する実験などを行い、磁束の変化と誘導起電力の向きや大きさとの関係を見いだす。 【思】電磁誘導の法則を理解する。 【学】電磁誘導の現象に主体的に関わり、探究する態度を養う。	電磁誘導 「課題発見」「課題解決」「表現」		9	【知】電磁誘導を理解し、計算できる。 【思】電磁誘導の発生の仕組みを理解し、説明できる。 【主】電磁誘導の現象を身近な例において見出し、理解しようとしている。		提出物	●	●	●	
								実験レポート	●	●	●	
								定期考査・小テスト		●	●	
		1 学期中間考査			1							
		電磁誘導と交流 【知】交流の発生について理解する。 【思】電磁波の性質とその利用を理解する。 【学】交流と電磁波の現象に主体的に関わり、探究する態度を養う。	交流 「課題発見」「課題解決」「表現」		9	【知】交流電源の仕組みや働きに関心をもち、公式など基本事項を理解している。交流回路の回路素子が持つ性質を理解し、電流・電圧や消費電力を計算できる。 【思】共振回路や電気振動を理解し、共振周波数を計算できる。 【主】電磁波に興味関心を抱き、その応用について探究しようとしている。		提出物	●	●	●	
								実験レポート	●	●	●	
								定期考査・小テスト		●	●	
		原子物理 【知】電子や光の粒子性と波動性について理解する。	原子物理 「課題発見」「課題解決」「表現」		10	【知】光の粒子性をもとに光電効果を理解し、仕事関数や電流・電圧などを計算できる。 【思】電子をはじめとする粒子の波動性をもとに、電子線回折などの現象の仕組みを理解している。 【主】光を粒子として、電子などを波として捉えることに、積極的に馴染もうとしている。		提出物	●	●	●	
								実験レポート	●	●	●	
								定期考査・小テスト		●	●	
		1 学期期末考査			1							
				単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】
2 学 期 （ 1 3 週 ）	2 学 期 （ 1 3 週 ）	原子物理 【知】原子の構造とエネルギーの関わりを、科学的に探求するために必要な知識を身に付ける。 【思】原子構造と原子内電子のエネルギー準位との関係について理解する。 【学】原子のエネルギースペクトルを探究する態度を養う。	原子物理 「課題発見」「課題解決」「表現」		9	【知】原子の構造をエネルギーの関わりを探究するための知識を身に付けている。 【思】原子のエネルギー・スペクトルを光の放出・吸収と関連させて理解している。 【主】主に水素原子を扱って、原子内での電子の波動性によるエネルギー構造を探究しようとしている。		提出物	●	●	●	
								定期考査・小テスト		●	●	
		原子物理 【学】原子核の構成、崩壊現象や核反応について理解する。また、素粒子の存在について知る。	原子物理 「課題発見」		9	【知】核反応のエネルギーや原子崩壊の半減期などを計算する技能を身に付けている。 【思】原子核反応が起きる際の法則性について理解している。 【主】原子核と素粒子に関わる先端技術や発見に関心を持ち、未知の現象を探究しようとする意欲を持っている。		提出物	●	●	●	
								定期考査・小テスト		●	●	
		2 学期中間考査			1							
		【知】各単元で学習した基礎原理・法則に対する理解を深め、共通テストの問題を確実に解くことのできる力を身に付ける。 【知】物理の全範囲を統一的に理解し、大学2次試験問題を解くことのできる応用力を身に付ける。 【学】問題演習を通して、物理体系を統一的に理解することに努めている。	入試問題演習 「課題解決」		19	【知】力学の原理・法則の高度な応用力を身に付ける。 【思】力学の学習で身に付けた力とエネルギーの概念を基礎として、熱、波動・光、電磁気・原子物理の各分野において、基礎的問題（共通テスト向け）と応用問題（2次試験向け）を解く力を身に付ける。 【主】問題演習に積極的に取り組んでいる。		提出物	●	●	●	
								定期考査・小テスト		●	●	
2 学期期末考査			1									
		単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】
3 学 期 （ 9 週 ）	3 学 期 （ 9 週 ）	【知】各単元で学習した基礎原理・法則に対する理解を深め、共通テストの問題を確実に解くことのできる力を身に付ける。 【知】物理の全範囲を統一的に理解し、大学2次試験問題を解くことのできる応用力を身に付ける。 【学】問題演習を通して、物理体系を統一的に理解することに努めている。	入試問題演習 「課題解決」		27	【知】力学の原理・法則の高度な応用力を身に付ける。 【思】力学の学習で身に付けた力とエネルギーの概念を基礎として、熱、波動・光、電磁気・原子物理の各分野において、基礎的問題（共通テスト向け）と応用問題（2次試験向け）を解く力を身に付ける。 【主】問題演習に積極的に取り組んでいる。		提出物	●	●	●	

教科		理科	科目名	化学演習		対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書		「化学　academia」（実教出版）					教科 担当	B組：関　　登		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「スクエア最新図説化学」（第一学習社）　「リードα化学」（数研出版） 「化学重要問題集 化学基礎・化学」（数研出版）　「新課程版　ビーライン化学」（第一学習社）										
教科の目標		【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。										
科目の目標		【知識及び技能】日常生活や社会などの関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】物質とその変化に主体的に関わり、化学的に探究する態度を養う。										
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	共通テスト演習 【知】化学共通テスト形式の問題が解けるようになる。 【思】化学共通テスト応用問題が解けるようになる。 【学】化学共通テスト問題に積極的に取り組もうとする。	共通テスト対策問題の演習（物質の構成粒子、物質量と化学反応式） 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		13	化学共通テスト形式の問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物				●
						考査		●	●			
		入試問題演習 【知】化学記述形式の問題が解けるようになる。 【思】化学記述応用問題が解けるようになる。 【学】化学記述問題に積極的に取り組もうとする。	国公立二次・私立大学入試対策問題の演習（酸と塩基の反応、酸化還元反応、結合と結晶、三態・気体の法則） 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		12	化学記述形式の問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物				●
						考査		●	●			
		1 学期期末考査		1								
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	共通テスト演習 【知】化学共通テスト形式の問題が解けるようになる。 【思】化学共通テスト応用問題が解けるようになる。 【学】化学共通テスト問題に積極的に取り組もうとする。	共通テスト対策問題の演習（反応とエネルギー、反応速度と化学平衡、電池・電気分解） 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		13	化学共通テスト形式の問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物				●
						考査		●	●			
		入試問題演習 【知】化学記述形式の問題が解けるようになる。 【思】化学記述応用問題が解けるようになる。 【学】化学記述問題に積極的に取り組もうとする。	国公立二次・私立大学入試対策問題の演習（化学各論：非金属元素・金属元素・脂肪族有機化合物・芳香族有機化合物、高分子） 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		12	化学記述形式の問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物				●
						考査		●	●			
		2 学期期末考査		1								
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	共通テスト演習 【知】化学共通テスト形式の問題が解けるようになる。 【思】化学共通テスト応用問題が解けるようになる。 【学】化学共通テスト問題に積極的に取り組もうとする。	共通テスト対策問題の演習（総合問題） 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		9	化学共通テスト形式の問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物		●	●	●
		入試問題演習 【知】化学記述形式の問題が解けるようになる。 【思】化学記述応用問題が解けるようになる。 【学】化学記述問題に積極的に取り組もうとする。	国公立二次・私立大学入試対策問題の演習（科学総合問題） 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		9	化学記述形式の問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物		●	●	●

教科		理科	科目名	生物演習		対象 学年	3 年	単位数	3単位	観点別評価		
使用教科書		「生物」（東京書籍）				教科 担当	B組：塩入直也			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「スクエア最新図説生物」（第一学習社） 「リードLightノート生物」（数研出版） 「セミナー生物」（第一学習社） 「大学入学共通テスト対策チェック&演習生物」（数研出版） 「思考力・判断力・表現力を養う生物実験・考察問題集」（数研出版）										
教科の目標		【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。										
科目の目標		【知識及び技能】生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。										
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法				
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	【知】生物の進化について，生命の起源と細胞の進化のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生物の進化について，観察，実験などを通して探究し，生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。 【学】生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		3	【知】生物の進化について，生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の進化について，観察，実験などを通して探究し，生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主】生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		考査・小テスト	●	●		
						課題提出物		●	●	●		
						実験レポート		●	●	●		
		【知】生物の進化について，遺伝子の変化と進化のしくみのことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生物の進化について，観察，実験などを通して探究し，遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。 【学】遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		3	【知】生物の進化について，遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の進化について，観察，実験などを通して探究し，遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		考査・小テスト	●	●		
						課題提出物		●	●	●		
						実験レポート		●	●	●		
		【知】生物の進化について，生物の系統と進化のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生物の進化について，観察，実験などを通して探究し，生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。 【学】生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3章 生物の系統と進化 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		4	【知】生物の進化について，生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生物の進化について，観察，実験などを通して探究し，生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主】生物の系統と進化に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		考査・小テスト	●	●		
						課題提出物		●	●	●		
						実験レポート		●	●	●		
		【知】生命現象と物質について，細胞と分子のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生命現象と物質について，観察，実験などを通して探究し，細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。 【学】細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		5	【知】生命現象と物質について，細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生命現象と物質について，観察，実験などを通して探究し，細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。 【主】細胞と分子に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		考査・小テスト	●	●		
						課題提出物		●	●	●		
						実験レポート		●	●	●		
		【知】生命現象と物質について，代謝のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生命現象と物質について，観察，実験などを通して探究し，代謝についての特徴を見いだして表現する。 【学】代謝に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2章 代謝とエネルギー 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		6	【知】生命現象と物質について，代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生命現象と物質について，観察，実験などを通して探究し，代謝についての特徴を見いだして表現している。 【主】代謝に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		考査・小テスト	●	●		
						課題提出物		●	●	●		
						実験レポート		●	●	●		
		1学期中間考査				1						
		【知】遺伝情報の発現と発生について，遺伝情報とその発現のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思】遺伝情報の発現と発生について，観察，実験などを通して探究し，遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。 【学】遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		4	【知】遺伝情報の発現と発生について，遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報の発現と発生について，観察，実験などを通して探究し，遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝情報とその発現に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		考査・小テスト	●	●		
						課題提出物		●	●	●		
						実験レポート		●	●	●		
		【知】遺伝情報の発現と発生について，発生と遺伝子発現のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思】遺伝情報の発現と発生について，観察，実験などを通して探究し，発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【学】発生と遺伝子発現に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2章 発生と遺伝子発現 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		6	【知】遺伝情報の発現と発生について，発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報の発現と発生について，観察，実験などを通して探究し，発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主】発生と遺伝子発現に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		考査・小テスト	●	●		
						課題提出物		●	●	●		
						実験レポート		●	●	●		
		【知】遺伝情報の発現と発生について，遺伝子を扱う技術のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 【思】遺伝情報の発現と発生について，観察，実験などを通して探究し，遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。 【学】遺伝子を扱う技術に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3章 遺伝子を扱う技術 「課題発見」 「課題解決」 「表現」		6	【知】遺伝情報の発現と発生について，遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】遺伝情報の発現と発生について，観察，実験などを通して探究し，遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主】遺伝子を扱う技術に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。		考査・小テスト	●	●		
						課題提出物		●	●	●		
						実験レポート		●	●	●		
		1学期期末考査				1						

		学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
主な学習内容と授業時数	2学期（13週）	1	【知】刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【学】刺激の受容と反応に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 「課題発見」「課題解決」「表現」	5	【知】刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主】刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考査・小テスト	●	●		
							課題提出物	●	●	●	
							実験レポート	●	●	●	
			【知】動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【学】動物の行動に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2章 動物の行動 「課題発見」「課題解決」「表現」	5	【知】動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主】動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考査・小テスト	●	●		
							課題提出物	●	●	●	
							実験レポート	●	●	●	
			【知】植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【学】植物の環境応答に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3章 植物の環境応答 「課題発見」「課題解決」「表現」	5	【知】植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主】植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考査・小テスト	●	●		
							課題提出物	●	●	●	
							実験レポート	●	●	●	
		2	【知】生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間との関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【学】生態と環境に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集 「課題発見」「課題解決」「表現」	4	【知】生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。 【主】個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考査・小テスト	●	●		
							課題提出物	●	●	●	
							実験レポート	●	●	●	
			【知】生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。 【学】生態系の物質生産と物質循環に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2章 生態系の物質生産と物質循環 「課題発見」「課題解決」「表現」	3	【知】生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。 【主】生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考査・小テスト	●	●		
							課題提出物	●	●	●	
							実験レポート	●	●	●	
			【知】生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思】生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。 【学】生態系と人間生活に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	3章 生態系と人間生活 「課題発見」「課題解決」「表現」	3	【知】生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思】生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。 【主】生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	考査・小テスト	●	●		
							課題提出物	●	●	●	
							実験レポート	●	●	●	
2学期中間考査					1						
実験考察問題演習 総合問題演習 【知】各単元で学習した基礎原理や法則に対する理解を深め、大学入学共通テストの問題を確実に解くことのできる力を身に付ける。 【思】生物の全範囲を統一的に理解し、大学二次試験問題を解くことのできる応用力を身に付ける。 【学】問題演習に対して、生物の全範囲を統一的に理解することに努めている。			大学入学共通テスト対策問題演習 私学個別試験、国公立二次試験の対応		12	【知】大学入学共通テストの問題を確実に解くことができる。志望大学の入試問題を解くことができる。 【思】大学二次試験問題を解くことのできる応用力を身に付けている。 【主】問題演習に積極的に取り組んでいる。	考査・小テスト	●	●		
							課題提出物	●	●	●	
							実験レポート	●	●	●	
2学期期末考査					1						
学期	単元と指導目標			指導項目・内容		配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
3学期（9週）	総合問題演習 【知】各単元で学習した基礎原理や法則に対する理解を深め、大学入学共通テストの問題を確実に解くことのできる力を身に付ける。 【思】生物の全範囲を統一的に理解し、大学二次試験問題を解くことのできる応用力を身に付ける。 【学】問題演習に対して、生物の全範囲を統一的に理解することに努めている。			大学入学共通テスト対策問題演習 私学個別試験、国公立二次試験の対応		27	【知】大学入学共通テストの問題を確実に解くことができる。志望大学の入試問題を解くことができる。 【思】大学二次試験問題を解くことのできる応用力を身に付けている。 【主】問題演習に積極的に取り組んでいる。	課題提出物	●	●	●

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		理科		科目名		物理基礎演習				対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価		
使用教科書 「高等学校 物理基礎」（第一学習社）										教科 担当	A組：小浦 真史			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材 「新課程版 セミナー物理基礎＋物理」（第一学習社）、チェック＆演習物理基礎（数研出版）																
教科の目標 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。																
科目の目標 【知識及び技能】日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。																
		単元と指導目標			指導項目・内容			配当 時間		評価規準		評価方法				
主な 学習 内容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ － ）	1	運動の時間追跡 仕事とエネルギー 熱学 波動 電磁気 物理基礎全範囲の内容を理解する。【知】物理基礎全範囲の応用することができる。【思】物理基礎全範囲の理解に取り組もうとする。【学】	運動の時間追跡 仕事とエネルギー 熱学 波動 電磁気 「課題発見」「課題解決」「表現」	14	物理基礎の全範囲を理解している。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。	提出物	●	●	●						
			定期考査	●		●										
		1 学期中間考査			1											
	1 3 週 （ － ）	1	総合演習 物理基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】物理基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】物理基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】	共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	10	大学入学共通テスト形式問題が解ける 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現、解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物	●	●	●						
			定期考査	●		●										
		1 学期期末考査			1											
		単元と指導目標			指導項目・内容			配当 時間		評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】
	2 学 期 （ － ）	2	総合演習 物理基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】物理基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】物理基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】	共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	大学入学共通テスト形式問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物	●	●	●						
定期考査			●	●												
	2 学期中間考査			1												
1 3 週 （ － ）	3	総合演習 物理基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】物理基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】物理基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】	共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	大学入学共通テスト形式問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物	●	●	●							
		定期考査	●		●											
	2 学期期末考査			1												
	単元と指導目標			指導項目・内容			配当 時間		評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】	
3 学 期 （ － 9 週 ）	3	総合演習 物理基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】物理基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】物理基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】	共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	18	大学入学共通テスト形式問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物	●	●	●							

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		理科		科目名		化学基礎演習			対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書		化学基礎academia（実教出版）							教科 担当	A組：渡部 啓太			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		ビーライン化学基礎（第一学習社） スクエア最新図説化学（第一学習社）														
教科の目標		【知識及び技能】自然の事物現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などにより、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。														
科目の目標		【知識及び技能】日常生活や社会などの関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】物質とその変化に主体的に関わり、化学的に探究する態度を養う。														
		単元と指導目標			指導項目・内容			配当 時間	評価規準			評価方法				
主な 学習 内容 と 授業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	1	物質の構成 物質と化学結合 物質の変化 化学基礎全範囲の内容を理解する。【知】 化学基礎全範囲の応用することができる。 【思】 化学基礎全範囲の理解に取り組もうとする。【学】	物質の探究 物質の構成粒子 イオン結合 共有結合と分子間力 金属結合 化学結合と物質 物質と化学反応式 酸と塩基 酸化還元反応 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	化学基礎の全範囲を理解している。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。	提出物		●	●	●					
							定期考査		●	●						
							1 学期中間考査		1							
		1 3 週	総合演習 化学基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】 化学基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】 化学基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】	共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	大学入学共通テスト形式問題が解ける 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物		●	●	●					
	定期考査						●	●								
	1 学期期末考査						1									
	2 学 期 （ 1 3 週 ）	2 学 期 （ 1 3 週 ）	2	総合演習 化学基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】 化学基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】 化学基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】	共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	大学入学共通テスト形式問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物		●	●	●				
								定期考査		●	●					
2 学期中間考査								1								
1 3 週			総合演習 化学基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】 化学基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】 化学基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】	共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	12	大学入学共通テスト形式問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物		●	●	●					
		定期考査					●	●								
		2 学期期末考査					1									
3 学 期 （ 9 週 ）		3 学 期 （ 9 週 ）	3	総合演習 化学基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】 化学基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】 化学基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】	共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」	18	大学入学共通テスト形式問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	提出物		●	●	●				
	単元と指導目標		指導項目・内容			配当 時間	評価規準			評価方法		【知】	【思】	【主】		

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		理科	科目名	生物基礎演習		対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価				
使用教科書		「生物基礎」（東京書籍）					教科 担当	A組：茂木 篤		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材		「スクエア最新図説生物」（第一学習社）「リードLightノート生物基礎」（数研出版）「セミナー生物基礎」（第一学習社）「大学入学共通テスト対策チェック&演習生物基礎」（数研出版）												
教科の目標		【知識及び技能】自然の事物現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などにより、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。												
科目の目標		【知識及び技能】細胞で行われる生命活動から生物と環境の関わりに至るまで広く理解するとともに、生物学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験を通して、生物的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生命現象や生物と環境について主体的に学び、生物学的に探究する態度を養う。												
		単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法					
主な 学習 内容 と 授業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	生物と遺伝子 生物の体内環境の維持 生物の多様性と生態系 生物基礎全範囲の内容を理解する。【知】 生物基礎全範囲の応用することができる。【思】 生物基礎全範囲の理解に取り組もうとする。【学】		生物と遺伝子 生物の体内環境の維持 生物の多様性と生態系 「課題発見」「課題解決」「表現」		8	生物基礎の全範囲を理解している。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し、理解しようとしている。		提出物		●	●	●	
									定期考査		●	●		
		1 学期中間考査				1								
	1 3 週 （ ）		総合演習 生物基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】 生物基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】 生物基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】		共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		8	大学入学共通テスト形式問題が解ける 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		提出物		●	●	●
									定期考査		●	●		
	1 学期期末考査				1									
			単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】
2 学 期 （ 1 3 週 ）	2 学 期 （ 1 3 週 ）	総合演習 生物基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】 生物基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】 生物基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】		共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		6	大学入学共通テスト形式問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		提出物		●	●	●	
									定期考査		●	●		
		2 学期中間考査				1								
	1 3 週 （ ）		総合演習 生物基礎共通テスト問題が解けるようになる。【知】 生物基礎共通テスト応用問題が解けるようになる。【思】 生物基礎共通テスト問題に積極的に取り組む。【学】		共通テスト形式問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		12	大学入学共通テスト形式問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		提出物		●	●	●
									定期考査		●	●		
	2 学期期末考査				1									
			単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】
3 学 期 （ 9 週 ）	3 学 期 （ 9 週 ）	総合演習 大学入試問題が解けるようになる。【知】 大学入試問題が解けるようになる。【思】 大学入試問題に積極的に取り組む。【学】		大学入試問題演習 「課題発見」「課題解決」「表現」		14	大学入試問題が解ける。 【知】概念や原理・法則などを理解しているとともに、お互いの関連性を見出せる。 【思】見通しをもって問題等を、科学的に考察し表現・解答できる。 【主】事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		提出物		●	●	●	

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		保健体育		科目名		体育		対象 学年	3 年	単位数	3単位	観点別評価			
使用教科書				「新高等保健体育」（大修館）				教科 科 担 当	A組：西村 猛、半谷 亮介、長 明日香、中島 由香里、宋 強賢 B組：西村 猛、半谷 亮介、長 明日香、中島 由香里、宋 強賢 C組：西村 猛、半谷 亮介、長 明日香、中島 由香里、宋 強賢				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材															
教科の目標		【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。													
科目の目標		【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。													
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。		選択種目 バレーボール・サッカー・テニス・卓球等から種目を選択し、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」		13	【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 グループ・チームの活動や、作戦についての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保している。		提出物				●	●	
									実技試験		●	●			
									グループ学習		●	●	●		
		球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。		選択種目 バドミントン・ソフトボール・卓球、フライングディスク等の種目を選択し、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」		6			提出物				●	●	
									実技試験		●	●			
									グループ学習		●	●	●		
	球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。		選択種目 バレーボール・サッカー・テニス・卓球等から種目を選択し、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」		13	【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 グループ・チームの活動や、作戦についての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保している。		提出物				●	●		
								実技試験		●	●				
								グループ学習		●	●	●			
	球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。		選択種目 バドミントン・ソフトボール・卓球、フライングディスク等の種目を選択し、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」		7			提出物				●	●		
								実技試験		●	●				
								グループ学習		●	●	●			

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	選択種目 バレーボール・サッカー・テニス・卓球等から種目を選択をし、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	13	【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 グループ・チームの活動や、作戦についての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保している。	提出物		●	●
						実技試験	●	●	
						グループ学習	●	●	●
		球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	選択種目 バドミントン・ソフトボール・卓球、フライングディスク等の種目を選択し、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	7		提出物		●	●
						実技試験	●	●	
						グループ学習	●	●	●
	1 3 週 ）	球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	選択種目 バレーボール・サッカー・テニス・卓球等から種目を選択をし、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	13	【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】 グループ・チームの活動や、作戦についての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保している。	提出物		●	●
						実技試験	●	●	
						グループ学習	●	●	●
		球技 【知】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話し合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	選択種目 バドミントン・ソフトボール・卓球、フライングディスク等の種目を選択し、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	6		提出物		●	●
						実技試験	●	●	
						グループ学習	●	●	●

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	球技 【知】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	選択種目 バレーボール・サッカー・テニス・卓球等から種目を選択をし、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	18	【知】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主】グループ・チームの活動や、作戦についての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保している。	提出物		●	●
						実技試験	●	●	
						グループ学習	●	●	●
		球技 【知】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、作戦などについての話合いに貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや、健康・安全を確保すること。	選択種目 バドミントン・ソフトボール・卓球、フライングディスク等の種目を選択し、グループを作成し、各担当者がグループの体力や習熟度に合わせた計画・立案をし授業を進める。グループで協力して活動する。 「課題発見」「課題解決」「表現」	9		提出物		●	●
						実技試験	●	●	
						グループ学習	●	●	●

教科		外国語（英語）		科目名		英語コミュニケーションⅢ				対象 学年	3 年	単位数	4単位	観点別評価				
使用教科書		「Element English CommunicationⅢ」（啓林館）									教科 担当	A組：残間 紀美子 B組：残間 紀美子 C組：残間 紀美子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「共通テストドリル英語Reading」（Z会）、「Cutting Edge Orange」（エミル出版） 「Cutting Edge Black」（エミル出版）、「Vintage」（いいずな書店）																
教科の目標		【知識及び技能】外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。																
科目の目標		【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。目的に応じ日常的、社会的な話題等の内容を捉える技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】目的に応じ、日常的、社会的な話題等について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いようとしている。																
	学期	単元と指導目標		指導項目・内容		領域					配当 時間	評価規準		評価方法				
				聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書										
主 な 学 習 内 容 と 授 業	1 学 期 （ 1 3 週）	ELEMENT Lesson1 Energy 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。		バイオ燃料の種類についての説明を聞き取る。 グラフなどを参考にしながら概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理したりする。 英文を読み、その内容についてリテリングを行う。 発電方法や各国の温暖化を止める取り組みについてペアやグループで話し合う。 温室効果ガスに関するグラフを読み取り、二酸化炭素排出量を削減する方法について自分の考えを書く。 「課題発見」「課題解決」「表現」		●	●	●	●	●	6	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	定期考査	●	●	●		
													プレゼン、ディベート。スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●		
													提出物			●		
		ELEMENT Lesson2 Environment and Life 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。		イギリスの電球の規格についてのニュースを聞き取る。 グラフなどを参考にしながら概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理したりする。 英語の論説文を読み、その内容についてリテリングを行う。 オランウータンの保護についてプレゼンテーションを行う。 環境に関するSDGsへの興味の度合いを表すグラフの特徴を読み取り、SDGsを促進する方法について自分の考えを書く。 「課題発見」「課題解決」「表現」		●	●	●	●	●	7	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	定期考査	●	●	●		
													プレゼン、ディベート。スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●		
													提出物			●		
		Vintage 第1章～3章 【知】 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 既習の英語を使用し自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。		目的語が動名詞と不定詞で異なる場合 無生物主語構文 分詞構文 否定表現 助動詞＋have＋過去分詞 可算と不可算の名詞 「課題発見」「課題解決」									【知】 英文中の語彙を理解することができる。 英語の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 既習の英語を使用し自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	定期考査	●	●	●	
							●				●	4		小テスト エッセイ	●	●	●	
														提出物			●	
		CUTTUBG EDGE Orange Chapter1～6 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。		入試問題演習 サマリー 「課題発見」「課題解決」									【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英語の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	定期考査	●	●	●	
						●	●	●		●	4		小テスト	●	●			
		1 学期中間考査										1						
		ELEMENT Lesson3 Health and Life 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。		弱冷房車についてのアナウンスを聞き取る。 睡眠不足によって引き起こされる健康被害について、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断したりする。 英文を読み、その内容についてリテリングを行う。 日本人の睡眠時間の現状とその理由、SDGsとの関連についてペアで話し合う。 健康についての話し合いをもとに、どのように健康的な生活を送るかについて自分の考えを書く。 「課題発見」「課題解決」「表現」		●	●	●	●	●	7	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	定期考査	●	●	●		
														プレゼン、ディベート。スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●	
														提出物			●	

時 数	ELEMENT Lesson 4 Humans and Technology 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	AIに関するイベントの説明を聞き取る。 デジタル化と人間の記憶力についての英文を読み、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断したりする。 英文を読み、その内容についてリテリングを行う。 インターネットの良い点・悪い点について多様な観点からグループで話し合う。 コミュニケーション技術が人をより孤独にするかどうかについて自分の考えを書く。 「課題発見」「課題解決」「表現」	●	●	●	●	●	7	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	定期考査	●	●	●
	ELEMENT Lesson 5 Diversity 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	多様性についての講演を聞き取る。 絵文字についての英文を読んで、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理したりする。 英文を読み、その内容についてリテリングを行う。 イラストが表す内容や、性差による家事労働時間の違いとその理由について、ペアで話し合う。 講演の案内を読んで、多様性を尊重する社会にするために、どちらの講演内容がより役立つかについて自分の考えを書く。 「課題発見」「課題解決」「表現」	●	●	●	●	●	7	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	プレゼン、ディベート。スピーチ、ライティング等の表現活動	●	●	●
										提出物			●
										定期考査	●	●	●
	Vintage 第4章～7章 【知】 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 既習の英語を使用し自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	目的語に動名詞あるいは不定詞をとる動詞 否定語が文頭にくる倒置文 間違いやすい形容詞 原因・理由の前置詞 複合関係詞 未来を表す動詞の形 「課題発見」「課題解決」	●				●	4	【知】 英文中の語彙を理解することができる。 英語の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 既習の英語を使用し自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	定期考査	●	●	●
										小テストエッセイ	●	●	●
										提出物			●
	CUTTUBG EDGE Chapter 7～12 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	入試問題演習 サマリー 「課題発見」「課題解決」	●	●	●		●	4	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英語の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	定期考査	●	●	●
										小テスト	●	●	
	1学期期末考査									1			

		ELEMENT Lesson 1 0 Human Relationships 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	人間の社会的ネットワークの仕組みについて、説明を聞き取る。 物語文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読んだりする。 英文を読んで、その内容についてリテリングを行う。 高校生活で思い出に残ったイベントについて話し合い、ロールプレイで相手にインタビューを行う。 高校生活を振り返り、感謝をしている相手について、どのようなところに感謝しているのか象徴的なエピソードを書く。 「課題発見」「課題解決」「表現」	●	●	●	●	●	7	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英⑤の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 英文のテーマに沿って自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。		●	●	●
		Vintage 第12章～15章 【知】 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 既習の英語を使用し自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	使役構文 叙術用法と限定用法の形容詞 冠詞 「～するとすぐに構文」 現在分詞と過去分詞 ifを使わない仮定法 最上級に意味を表す比較級・原級 「課題発見」「課題解決」		●			●	4	【知】 英文中の語彙を理解することができる。 英語の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 既習の英語を使用し自分の考えや情報をまとめ、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。		●	●	●
		CUTTUBG EDGE Black Chapter 1～7 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりする。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	入試問題演習 サマリー 「課題発見」「課題解決」	●	●	●		●	4	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英語の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 英文のテーマに沿って意見交換したり、解決策について話し合ったりすることができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。		●	●	●
		2学期期末考査							1					
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域				配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】	
				聞	読	話「や」	話「発」	書						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3学期（9週）	総まとめ CUTTUBG EDGE Black Chapter 8～14 入試問題演習① 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 既習事項を大学入試問題に応用して解く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	共通テストに対応した演習問題実践 共通テストリスニングに対応した演習問題実践 「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	12	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英語の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 既習事項を大学入試問題に応用して解くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	小テスト	●	●	
		提出物				●								
		総まとめ 入試問題演習② 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取る。 英文中の語彙を理解する。 英語の文法や文の構造を理解する。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりする。 既習事項を大学入試問題に応用して解く。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。	国公立大学2次試験、私立大学個別試験に対応した演習問題実践 国公立大学2次試験、私立大学個別試験リスニングに対応した演習問題実践 「課題発見」「課題解決」	●	●	●	●	●	24	【知】 英語の特徴的な音声を聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英語の文法や文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容を的確に捉え、情報の要点をまとめたり、リテリングをしたりすることができる。 既習事項を大学入試問題に応用して解くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	小テスト	●	●	
提出物				●										

教科		外国語（英語）		科目名		論理・表現Ⅲ					対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価							
使用教科書		「Earthrise Logic & Expression Ⅲ Advanced」（数研出版）										教科 担当	A組：千葉 祐二、黒崎 良一、岩鶴 百葉、平山 たみ子 B組：千葉 祐二、黒崎 良一、岩鶴 百葉、平山 たみ子 C組：千葉 祐二、黒崎 良一、島田 昭彦、平山 たみ子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
補助教材		「EARTHRISE 英語総合演習」（数研出版） 「入試必携英作文 Write to the Point」（数研出版）																				
教科の目標		【知識及び技能】外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。																				
科目の目標		【知識及び技能】①学習した内容を理解し、適切に使うことができる ②学習した内容を活用し、論理の構成や展開を工夫して、詳細を交えつつ、1つまたは複数の段落からなる文章を書くことができる 【思考力、判断力、表現力等】①教科書のタスク活動と学習した内容を通して、適切に、発表、やりとり、書くこと、ディベートなどができる ②社会的な話題に関して、相手の意見を踏まえて、伝えることができる 【学びに向かう力、人間性等】①間違うことを恐れず活動し、うまく表現できないことがあっても言い換えるなどして、コミュニケーションを図ろうとしている ②相手や、相手のメッセージを踏まえて、積極的に伝えようとしている																				
	学期	単元と指導目標			指導項目・内容			領域 聞 読 話〔や〕 話〔発〕 書			配当 時間	評価規準			評価方法							
容	1 学 期 （ 1 3 週 ）	【知】Lesson1 ・Coming to Japan ・入試必携英作文 第1,2章 【思】 ・受け取ったメールの返信を書く。 【知】 ・主語を適切に選択し、多少、増減、存在、一般論などについて表現する。 【学】学んだ英語積極的に使用する。			メールの書き方① 主語の決定(1) 主語の決定(2) 「課題発見」 「課題解決」 「表現」			●	●		●	●	8	【思】 受け取ったメールの返信を書く。 【知】 主語を適切に選択し、多少、増減、存在、一般論などについて表現できる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。			確認テスト			●	●	
																	パフォーマンステスト				●	●
																	授業態度					●
																	定期考査			●	●	●
		1 学期中間考査										1										
		・Lesson2 Online Shopping ・入試必携英作文 3章 【思】 ・自分が成長した経験について話し合い、エッセイを書く。 【知】 ・to doやso thatなどを用いて目的を表現する。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。			メールの書き方② 目的表現 「課題発見」 「課題解決」 「表現」			●	●		●	●	8	【思】 注文した商品の不備を報告するとともに、その後の対応について質問するメールを書くことができる。 【知】 to doやso thatなどを用いて目的を表現することができる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。			確認テスト			●	●	
																	パフォーマンステスト				●	●
																	授業態度					●
																	定期考査			●	●	●
		・EARTHRISE英語総合演習 Lesson1～5 ・入試必携英作文 4,5章 【思】 ・今まで学習した知識をもとに応用問題に挑戦する。 【知】 ・because,since,so～that, such～that などを用いて理由を表現できる。 現在完了形・過去形などの時制を適切に用いて表現できる。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。			入試問題に挑戦（文法・語法） 時制（1） 「課題発見」 「課題解決」 「表現」			●	●		●	●	8	【思】 様々な文法知識、語法を結び付けて、初見の問題を解くことができる。 【知】 because,since,so～that, such～that などを用いて理由を表現できる。 現在完了形・過去形などの時制を適切に用いて表現できる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。			確認テスト			●	●	
																	パフォーマンステスト					
																	授業態度					●
																	定期考査			●	●	●
	1 学期期末考査										1											
2 学 期 （ 1 3 週 ）	・Lesson4 24-hour stores ・入試必携英作文4,5章 【思】 ・環境保護の方法を話し合い、エッセイを書くことができる。3Rの特徴について話し合う。 【知】 ・because,since,so～that, such～that などを用いて理由を表現できる。 現在完了形・過去形などの時制を適切に用いて表現する。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。			て意見を述べる① 理由の表現 時制（1） 「課題発見」 「課題解決」 「表現」			●	●		●	●	6	【思】 コンビニエンスストアの24時間営業の是非について意見を述べることができる。 【知】 because,since,so～that, such～that などを用いて理由を表現できる。 現在完了形・過去形などの時制を適切に用いて表現できる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。			確認テスト			●	●		
																パフォーマンステスト				●	●	
																授業態度					●	
																定期考査			●	●	●	
	・Lesson5 Smart Agriculture ・入試必携英作文 6,7章 【思】 ・キャッシュレス決済の普及の方法を話し合い、エッセイを書く。 【知】 ・現在形・現在進行形・be going to・willを適切に用いて表現する。 知覚動詞や使役動詞などのSVOCをとる動詞を適切に用いて表現する。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。			意見を述べる② 原因・結果型エッセイの書き方 （2）動詞の語法 「課題発見」 「課題解決」 「表現」			●	●		●	●	6	【思】 スマート農業について意見を述べることができる。 【知】 現在形・現在進行形・be going to・willを適切に用いて表現できる。 知覚動詞や使役動詞などのSVOCをとる動詞を適切に用いて表現することができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。			確認テスト			●	●		
																パフォーマンステスト				●	●	
																授業態度					●	
																定期考査			●	●	●	
	2 学期中間考査										1											
	・Lesson6 Aiman, the household robot ・入試必携英作文 8,9章 【思】 ・食物添加物についてを話し合い、エッセイを書くことができる。 【知】 ・関係代名詞と関係副詞、whatとthat、制限用法・非制限用法を区別しながら表現する。 時間を表す様々な表現を使う。 【学】 学んだ英語を積極的に使用する。			意見を述べる③ 関係詞 時間の表現 「表現」			●	●		●	●	6	【思】 人気になると思う梶ロボットの機能について意見を述べる。 【知】 関係代名詞と関係副詞、whatとthat、制限用法・非制限用法を区別しながら表現できる。 時間を表す様々な表現を使いこなせる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。			確認テスト			●	●		
																パフォーマンステスト				●	●	
																授業態度					●	
																定期考査			●	●	●	

		・ EARTHRISE 英語総合演習 Lesson 6～15 ・ 入試必携英作文 10, 11章	入試問題を用いた実践演習 数字の表現 仮定・条件の基本							6	【思】 様々な文法知識、語法を結び付けて、初見の問題を解くことができる。 【知】 数字を適切に表現することができる。 現実か仮定かを区別して仮定・条件を表現できる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。	確認テスト	●	●		
			「表現」									パフォーマンステスト				
												授業態度			●	
												定期考査	●	●	●	
		2学期期末考査									1					
3 学 期 （ 9 週 ）		・ Lesson 8 a helping hand ・ 入試必携英作文 11, 12章	イラストを説明する① 関係詞 時間の表現							6	【思】 駅への道で遭遇した出来事を説明する。 【知】 関係代名詞と関係副詞、whatとthat、制限用法・非制限用法を区別しながら表現できる。時間を表す様々な表現を使いこなせる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。	確認テスト	●	●		
			「課題解決」 「表現」									パフォーマンステスト				
												授業態度			●	
		・ 入試対策演習 ・ 入試必携英作文 12, 13章	入試問題を用いた実践演習 数字の表現 仮定・条件の基本								6	【思】 様々な文法知識、語法を結び付けて、初見の問題を解くことができる。 【知】 仮定・条件の様々な表現を用いて表現できる。比較表現を正確に表現できる。様々な特殊構文を理解できる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。	確認テスト	●	●	
			「課題発見」 「課題解決」									パフォーマンステスト				
												授業態度			●	
		・ Lesson10 Future Career plans ・ 入試必携英作文 14～16章	申し込み書・応募書類を作る 比較の応用 譲歩の表現 重要表現								4	【思】 インターンシップへの応募書類を作る。 【知】 様々な比較構文や譲歩構文を理解できる。類似や相違を表す表現を用いて表現できる。英作文の知識を身につけている。 【主】 学んだ英語を積極的に使用できる。	確認テスト	●	●	
			「表現」									パフォーマンステスト				
												授業態度			●	

令和7年度 年間授業計画（評価計画）

東京都立富士高等学校

教科		外国語（英語）	科目名	英語総合演習				対象 学年	3 年	単位数	2単位	観点別評価			
使用教科書		なし							教科 担当	A組：島田 昭彦 千葉 祐二 C組：島田 昭彦 千葉 祐二			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「OVER ALL 英語総合問題集 5 〔改訂版〕」（Z会出版）													
教科の目標		【知識及び技能】外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。													
科目の目標		【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。目的に応じ日常的、社会的な話題等の内容を捉える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】目的に応じ、日常的、社会的な話題等について情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いようとしている。													
	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域					配当 時間	評価規準	評価方法				
				聞	読	話 （や きく）	話 （は きく）	書							
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	OVER ALL 5 Unit 1～3 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取れる。 英文中の語彙を理解できる。 英文の構造を理解できる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書ける。 【学】 学んだ英語を積極的に使用できる。	入試問題演習（玉川大、大阪経済大、愛知教育大） 「課題発見」「課題解決」							10	【知】 英語のリズム・イントネーションを聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物		●	●
												定期考査	●	●	
												授業態度			●
		1 学期中間考査							1						
	1 3 週	OVER ALL 5 Unit 4～8 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取れる。 英文中の語彙を理解できる。 英文の構造を理解できる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書ける。 【学】 学んだ英語を積極的に使用できる。	入試問題演習（横浜国立大、大阪教育大、学習院大、成蹊大） 「課題発見」「課題解決」							14	【知】 英語のリズム・イントネーションを聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物		●	●
												定期考査	●	●	
												授業態度			●
		1 学期期末考査							1						

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域					配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				聞	読	話「や」	話「発」	書						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	2 学 期 （ 1 3 週 ）	OVER ALL 5 Unit 9～12 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取れる。 英文中の語彙を理解できる。 英文の構造を理解できる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書ける。 【学】 学んだ英語を積極的に使用できる。	入試問題演習（東京理科大、青山学院大、熊本大、日本獣医生命科学大、） 「課題発見」「課題解決」						12	【知】 英語のリズム・イントネーションを聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書けることができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物		●	●
				●	●	●	●	●			定期考査	●	●	
											授業態度			●
		2 学期中間考査								1				
		OVER ALL 5 Unit 13～15 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取れる。 英文中の語彙を理解できる。 英文の構造を理解できる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書ける。 【学】 学んだ英語を積極的に使用できる。	入試問題演習（京都市立医科大、福島大、慶応義塾大、筑波大） 「課題発見」「課題解決」						12	【知】 英語のリズム・イントネーションを聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英文の構造を理解することができる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書けることができる。 【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	提出物		●	●
				●	●	●	●	●			定期考査	●	●	
											授業態度			●
		2 学期期末考査								1				

	学期	単元と指導目標	指導項目・内容	領域					配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【主】
				聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書						
	3 学 期 （ 9 週 ）	共通テスト・難関私大対策プリント 【知】 英語の特徴的な音声を聞き取れる。 英文中の語彙を理解できる。 英文の構造を理解できる。 【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書ける。 【学】 学んだ英語を積極的に使用できる。	文法演習 生徒のニーズに応じた大学入試の過去問解説 添削 「課題発見」 「課題解決」	●	●	●	●	●	18	【知】 英語のリズム・イントネーションを聞き取ることができる。 英文中の語彙を理解することができる。 英文の構造を理解することができる。	提出物		●	●
										【思】 英文の内容についてリテリングをしたり意見や考えを述べることができる。 英文のテーマに沿って意見や解決策をまとめることができる。 英文のテーマに沿ったメール、レポート、エッセイ、意見文等を書くことができる。	定期考査	●	●	
										【主】 学んだ英語を積極的に使用することができる。	授業態度			●

教科		理数	科目名		理数探究（富士未来学）		対象 学年	3 年	単位数	1 単位	観点別評価				
使用教科書							教科 担当	残間 紀美子、浮葉 翔、西村 猛、千葉 祐二、南 昭仁、松尾 陽介			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材															
教科の目標															
【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。															
科目の目標							【知識及び技能】対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。								
	学期	単元と指導目標			指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法					
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 （ 1 3 週 ）	富士未来学ガイダンス 【知】富士未来学VIガイダンスで学習した内容を理解している。1年間の探究活動の見通しを立てることができる。富士未来学での自己の目標をもつことができる。 【学】挑戦力を働かせて富士未来学Vガイダンスに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。			富士未来学の内容を知る。 探究に必要な力を学ぶ。		1	【知】富士未来学VIガイダンスで学習した内容を理解している。 1年間の探究活動の見通しを立てることができる。富士未来学での自己の目標をもつことができる。 【主】挑戦力を働かせて富士未来学Vガイダンスに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。		ワークシート				●	
								到達度確認シート			●				
		アカデミック・ライティング講座Ⅱ 【知】アカデミック・ライティング講座Ⅱで学習した内容を理解している。 【思】探究の過程で記録した内容を基に、他社に伝えるべき内容を客観的に整理し、適切な英語の表現方法でまとめることができる。 【学】挑戦力を働かせてアカデミック・ライティング講座Ⅱに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。			課題研究での探究の過程を論理的に整理して英語で記述する方法を学ぶ。 英語での発表方法を学ぶ。		5	【知】質問紙講座Ⅱで学習した内容を理解している。 【思】研究倫理に配慮しながら、質問紙を作成することができる。 【主】挑戦力を働かせて質問紙講座Ⅱに取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。。		ワークシート				●	
								到達度確認シート			●				
		個人・グループ研究 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【学】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みうとしている。			英語での発表方法を学ぶ。		2	【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みうとしている。		ワークシート				●	
								到達度確認シート			●				
								課題			●				
		探究発表会 【知】探究発表会で学習した内容を理解している。 【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参会者として質疑応答する活動をとおして、自らの研究を見つめ直し、研究の内容を改善し、深化させる機会とすることができる。 【学】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。			発表者として英語で発表を行い、他学年の発表を聴き、質問者として質問を行う。		4	【知】探究発表会で学習した内容を理解している。 【思】富士未来学で取り組んだ課題研究の成果発表、参会者として質疑応答する活動をとおして、自らの研究を見つめ直し、研究の内容を改善し、深化させる機会とすることができる。 【主】挑戦力を働かせて探究発表会に取り組み、学習した内容を自己の課題研究に生かそうとしている。		ワークシート				●	●
								ポスター					●	●	
								到達度確認シート			●				
1 学期期末考査							1								
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	学期	単元と指導目標			指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】	
	2 学 期 （ 1 3 週 ）	個人・グループ研究 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【学】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みうとしている。			各自が設定した研究課題をもとに活動する。		6	【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みうとしている。		ワークシート					●
								到達度確認シート			●				
								課題			●	●			
		個人・グループ研究 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【学】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みうとしている。			各自が設定した研究課題をもとに活動する。		6	【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みうとしている。		ワークシート					●
								到達度確認シート			●				
								課題			●	●			
		2 学期期末考査							1						
	学期	単元と指導目標			指導項目・内容		配当 時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【主】	
	主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	3 学 期 （ 9 週 ）	個人・グループ研究 【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【学】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みうとしている。			各自が設定した研究課題をもとに活動する。		9	【思】探究の意義及び、探究の過程について理解することができる。研究倫理に則って研究活動を進めることができる。観察・実験・調査等の技能、事象を分析するための統計処理の技能、探究の成果などをまとめ、発表するための技能を身に付けることができる。 【主】挑戦力を働かせて自己の課題研究に取り組みうとしている。		ワークシート				
						到達度確認シート			●						
						課題			●			●			